

植原悦二郎著作目録

松田 義男 編

改訂 2023 年 12 月 22 日

2005 年 4 月 21 日

目次

1. 著書
2. 共著
3. 評論等(新聞・雑誌掲載)
4. 帝国議会議事速記録
5. 国会会議録

凡例

- ・著作の形態にしたがって、「1.著書」、「2.共著」、「3.評論等(新聞・雑誌掲載)」、「4.帝国議会議事速記録」、「5.国会会議録」に区分し、それぞれ年次順に配列した。
- ・新聞・雑誌掲載著作は、表題、掲載紙誌、掲載巻号数、掲載月日の順に記した。ただし、日刊新聞の号数は省略した。
- ・新聞・雑誌における常設欄・特集・アンケートなどは[]に示した。特集・アンケートへの寄稿で無題のものは、特集・アンケート表題を著作表題とし、[]内に「」で示した。
- ・連載評論で、初回とその後で表題が異なる場合、原則として初回の表題を採用し、初回掲載に一括して記した。
- ・雑誌掲載評論で、目次と本文で表題が異なる場合、原則として本文の表題を採用した。
- ・収録書は、下記の略号を使用し、[]に注記した。
『植原悦二郎と日本国憲法 そのリベラリストとしての実像』(植原悦二郎十三回忌記念出版刊行会、1974年)→『植原悦二郎と日本国憲法』
『日本憲法史叢書 9 植原悦二郎集』(信山社出版、2005年)→『植原悦二郎集』
- ・その他、適宜、注記事項を[]に示した。
- ・なお、『国家及国家学』第1巻第2号～12号、第2巻第1号～4号、第3巻第4、5号に「EU生」(E、U、生、E.U.生)署名の18篇がある。EUは植原悦二郎の頭文字と思われるが、採録は留保している。

本著作目録の作成に際しては、国立国会図書館、早稲田大学中央図書館、慶應義塾大学三田メディアセンター、大阪市立大学総合学術センター、大阪府立中央図書館、岡山大学付属図書館、岡山市立中央図書館、関西学院大学図書館、関西大学総合図書館、京都府立総合資料館、神戸大学付属図書館、県立長野図書館、高野山大学図書館、金光図書館、政策研究大学院大学図書館、西南学院大学図書館、東京大学総合図書館・同法学部付属近代法政資料センター明治新聞雑誌文庫、日本近代文学館、成田山仏教図書館、松本市立中央図書館、明治大学中央図書館より資料閲覧の便宜を得ました。付記して謝意を表します。

1. 著書

The political development of Japan, 1867-1909, (London, Constable), 1910 < 英文署名は George Etsuziro Uyehara > [第3篇 Working of the constitution 第1章 The Constitutional Monarchy を『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

『通俗立憲代議政体論』博文館、1912年2月22日 [『植原悦二郎集』収録]

『日本民権発達史』政教社、1916年11月23日 [付録に既発表論文3編を収録。序および付録を『植原悦二郎と日本国憲法』、序および第8章、付録から「山県公と立憲政治」を『植原悦二郎集』収録]

『現代英国の産業革命』[訳書]政教社、1916年11月30日 [原著: G. Lowes Dickinson, *justice and liberty*]

『憲政の進路 三政党宣言及び党首演説の解剖と憲法の真義』『日本及日本人』政教社、1917年2月8日

『犬養毅とロイド・ジョージ』猶興社、1917年8月15日 [書下ろし評論「犬養毅とロイド・ジョージ」、「臨時外交調査会と憲法問題」2篇と既発表評論「臨時外交調査会と我憲政」、「臨時外交調査会と国民の態度」を収録。「犬養毅とロイド・ジョージ」を『植原悦二郎集』収録]

『デモクラシーと日本の改造』中外印刷工業、1919年11月21日 [書下ろし評論「デモクラシー」(全4章)、「日本の改造」を収録。「デモクラシー」序・第1章・第2章を『植原悦二郎集』収録]

『欧州戦後の資本と労働』[訳書]精文館書店、1920年3月15日 [原著: Frank A. Vanderlip, *What happened to Europe*, 1919]

『現代民主政治』[共訳書]日本読書協会事務所、1921年10月1日 原著: James Bryce, *Modern Democracies*, 1921]

『支那みやげと普選に直面せんとする私』(非売品)、1926年2月10日

『支那現状の解剖』東海堂書店、1928年11月29日

『経済的破滅か振興か』1930年11月9日 [本文目次では、「浜口内閣施政の批判と政友会の政策」と副題]

『帝国内外の情勢』(非売品)、1934年10月10日 [「付録」として「政党解消論と立憲政治」、「独裁政治と議会政治」を収録]

『電力国営案を繞りて 時局座談会』電気日報社、1936年9月28日 [座談会: 矢野恒太、渡邊鍊蔵、龜井貫一郎、猪股洪清、石山賢吉、益田元亮、近藤賢二、三浦覚玄]

『憲法擁護と大政翼賛会 赤化防止と議会の論戦』皇道会本部、1941年4月5日

『新生日本と民主主義(憲法改正論)』二葉書店、1945年11月20日 [『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

『何故戦争を起したか何故負けたか』二葉書店、1945年12月25日

『現行憲法と改正憲法』東洋経済新報社、1946年9月1日

『国会の盲点』東洋経済新報社、1953年3月20日

『日本民権発達史』[全4巻]日本民主協会、1958年7月7日、10月5日、1959年1月31日、6月20日 [第1巻は、『日本民権発達史』(政教社、1916年11月23日)の再刊、第2巻以後はその続篇]

『日本の政治はどこへ行く』日本民主協会、1960年6月30日

『民主主義と議会の運営』[木下広居との共著]日本民主協会、1960年10月25日 [『民主主義と国会と国民のありかた』(日本民主協会、1961年9月15日)と改題して再版]

*『政界三大悪退治』日本民主協会、1961年

『八十路の憶出』植原悦二郎回顧録刊行委員会編、1963年12月2日

『植原悦二郎集』<日本憲法史叢書9>高坂邦彦・長尾龍一編、信山社出版、2005年4月10日

2. 共著

〔「会員討議」の中〕[1912年10月20日社会政策学会第6回大会第2日生計費問題討議於東京専修学校]『生計費問題』<社会政策学会編『社会政策学会論叢』第6冊>同文館、1913年8月4日[復刻版:『生計費問題』<社会政策学会史料集成6>(御茶の水書房、1977年)]

社会政策の実現策[1914年11月8日社会政策学会第8回大会第2日の講演於東京帝国大学法科第32番教室]『小農保護問題』<社会政策学会編『社会政策学会論叢』第8冊>同文館、1915年7月12日[復刻版:『小農保護問題』<『社会政策学会史料集成』8>(御茶の水書房、1977年)、『小農保護問題』<近藤康男編『明治大正農政経済名著集』13>(農山漁村文化協会、1977年)]

石井菊次郎米国に使す『阿修羅帖』第3巻、伊東忠太・杉村広太郎著、国粹出版社、1921年2月15日
婦人参政問題『新婦人問題』<婦人問題講演集6>石川六郎編、民友社、1921年8月1日[『婦人問題講演集』第6巻(日本図書センター、2003年)収録]

人種問題を背景としたる日支米の關係『新国是の提唱』国策研究会編、希望閣、1924年7月18日

ハウ・ツウ・ラーン・イングリッシュ『英語研究苦心談 十六大家講演集』第一外国語学校編、文化生活研究会、1925年1月15日

通信篇『新日本史』第1巻、三宅雄二郎監修、万朝報社、1926年11月18日

関税会議『政治講座』立憲政友会編、日本政治学会、1926年12月9日

政党政治の原則『政治講座 続編』立憲政友会編、立憲政友会本部、1928年2月3日

雄弁と其価値『巨人新人普選代議士名演説集』<『雄弁』19-5 付録>大久保周八編、大日本雄弁会講談社、1928年5月1日[青年雄弁会編『現代名士大講演集大演説集』(春江堂、1928年)、青年雄弁会編『現代名士獅子吼大演説集』(春江堂、1929年)収録]

序『米国西北部日本移民史』竹内幸次郎著、大北日報社、1929年7月1日

第五十六議會を顧みて『政友会の主義政策』石田善佐編、井田書店、1929年11月5日

婦選の哲理『昭和名演説集』<『雄弁』21-1 別冊附録>大日本雄弁会講談社、1930年1月1日

演壇は戦場なり[「名士の演説苦心談」]『演説の仕方と聴き方 附 政界名士演説集』青年雄弁会編、春江堂、1930年3月5日[改題『五分間演説の仕方』青年雄弁会編、春江堂、1935年3月5日]

許すべからざる暴論[「枢密院存廢論」]『現下の諸問題は是非対抗熱弁集』<『雄弁』第22-1 附録>大日本雄弁会講談社、1931年1月1日

米国生れの青年見学団を迎へて『新時代五分間演説集』<『雄弁』23-1 第1 付録>大日本雄弁会講談社、1932年1月1日

序『日本農具要覧』新農業新聞社出版所編・刊、1933年1月10日

青年に対する希望『政治家の観たる現代政治と其動向』高橋清治郎編、物を聞く会、1933年3月25日

国際連盟脱退後の日本『時局特別叢書 第一』日本放送出版協会、1933年5月15日

英語の学び方[於第一外国語学校講堂]『速記練習問題集』<速記術短期独習講座 第4巻>大日本国民中学会、1933年12月21日

議會政治の特異性『是非対抗 現代名士大討論集』<『雄弁』25-1 第1 附録>大日本雄弁会講談社、1934年1月1日

大陸政策遂行に際し先づ世界の蒙を開け(五月九日予算委員会速記全文)『外交・財政・国防問題特別議會

- 一騎討 特別議会舌戦録』城西出版社編・刊、1936年6月1日
- 『電力国営案を繞りて 時局座談会』電気日報社、1936年9月[座談会：矢野恒太、渡邊鍊藏、龜井貫一郎、猪股洪清、石山賢吉、益田元亮、近藤賢二、三浦覚玄]
- 序[共同執筆]『犬養木堂伝 上巻』東洋経済新報社、1938年12月28日[『木堂雑誌』16-2、1939年2月20日に転載]
- 序『北門開拓とアメリカ文化 ケブロンとクラークの功績』山本紘照著、文化書院、1946年11月3日
- 「再生の日本」発刊の辞『再生の日本』講和問題研究会、1951年10月20日
- 山室軍平氏を偲びて『山室軍平選集 別巻 追想集』「山室軍平選集」刊行会、1954年5月25日
- 序『観光瀬戸内海』山田震一編、山田毅一君遺稿発刊有志会、1955年4月1日
- 川崎克君を偲ぶ『川崎克伝』江戸川乱歩編、川崎克伝刊行会、1956年2月3日
- [1958年2月5日参考人としての発言(於首相官邸)]『憲法調査会第九回総会議事録』1958年2月5日[「憲法調査会議事録抜粋」と題して『植原悦二郎と日本国憲法』収録]
- 名川侃市君を偲ぶ『名川侃一を語る』名川恵造[非売品]、1959年9月20日
- 序『米国に於ける非行少年の研究』杉町八重充著、明治大学出版部、1961年5月26日
- 『植原悦二郎と日本国憲法 そのリベラリストとしての実像』植原悦二郎十三回忌念記念出版刊行会、1974年12月2日

3. 評論等(新聞・雑誌掲載)<768 篇>

1907(明治 40)年

倫敦より(植原悦二郎の私信)[雑纂]『新世界』9月29日

1911(明治 44)年

〔「社会政策学会記事」中の6月29日社会政策学会例会における談話「英国に於ける社会政策労働問題」要旨〕『国家学』25-8、8月1日

清国新憲法『東洋時論』2-12、12月4日

1912(明治 45・大正元)年

根本的行政整理『東洋時論』3-2、2月1日

君主制立憲政体と共和政体『東洋時論』3-3、3月1日

憲法上の謬想 上杉、美濃部、市村博士の論争批評『東洋時論』3-8、8月1日[『植原悦二郎集』収録]

明治の国民と大正の国民『東洋時論』3-9、9月1日

1913(大正 2)年

英王の神聖不可侵『国家及国家学』1-2、3月1日[『日本民権発達史』(政教社、1916年11月23日)付録、
『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

英国二大政党の主義『国家及国家学』1-3、4月1日

憲法上の迷信『青年日本』1-3、4月1日

憲法の解釈法『国家及国家学』1-4、5月1日

政党内閣論『青年日本』1-4、5月1日

排日問題の研究『国家及国家学』1-5、6月1日

枢密院改造論『青年日本』1-5、6月1日

排日の不条理『国家及国家学』1-6、7月1日

米国憲法と排日問題『青年日本』1-6、7月1日

日米問題『日米[The Japanese American News]』7月22~24日

国家と其意義『国家及国家学』1-7、8月1日

領土拡張歟民族発展歟『青年日本』1-8、9月1日

家族制度存続問題『国家及国家学』1-8、9月1日

Republican China『新支那』1、9月10日

支那政体論『国家及国家学』1-9、9月15日

英国の内閣と我国の内閣『国家及国家学』1-10、10月1日
桂公と伊藤公『国家及国家学』1-11、11月1日
政治上に於ける英国青年と日本青年『青年日本』1-10、11月1日
[「印象に残れる諸作」]『青年日本』1-10、11月1日
普通選挙論 理論及び実際問題『第三帝国』2、11月10日
英国代議士と選挙区民との関係『国家及国家学』1-12、12月1日
政変より得たる二感想『青年日本』1-11、12月1日

1914(大正 3)年

憲政上より見たる増師問題『国家及国家学』2-1、1月1日
アリストートルの革命論『国家及国家学』2-2、2月1日
憲法と政治の実情『青年日本』2-2、2月1日
京大教授の進退問題『青年日本』2-2、2月1日
立憲国大臣の責任『第三帝国』6、2月10日
立憲政体と地方自治制度『国家及国家学』2-3、3月1日
政治道徳『国家及国家学』2-4、4月1日
先づ其根本を究めよ[「政局面々観」]『新公論』29-4、4月1日
議会に於ける弁論『第三帝国』8、4月1日
内閣の建造者と其破壊者『国家及国家学』2-5、5月1日
憲政史上より見たる近時の政変[「政局面々観」]『新公論』29-5、5月1日
科学思想の影響[「外来思想と国民生活」]『青年日本』2-5、5月1日
政治学者より見たる我が小中学校の教育『内外教育評論』8-5、5月1日
法理上より観たる第二臨時議會『国家及国家学』2-6、6月1日
徹底せるポリチシアン[「犬養氏近状論」]『太陽』20-7、6月1日
元老存在の理由[「元老會議論」]『太陽』20-8、6月15日
司法権の独立『国家及国家学』2-7、7月1日
防務會議論『第三帝国』14、7月1日
加州問題と我外交『国家及国家学』2-8、8月1日
労働者の対抗運動『財政經濟時報』1-7、8月1日
美濃部博士の『臨時議會と憲法』を駁す『青年』2-8、8月1日
特殊会社と政黨員[「論説」]『大正之日本』2-8、8月1日
欧州大陸禍亂の結果『国家及国家学』2-9、9月1日

欧州大乱後の列強『第三帝国』19、9月16日

膠州湾に対する我国の態度『国家及国家学』2-10、10月1日

日本憲政史『大正之日本』2-10～12、3-2、3、5～8、10、4-3、4、10月1日、11月1日、12月1日、**1915年**
2月1日、3月1日、5月1日、6月1日、7月1日、8月1日、10月1日、**1916年**3月1日、4月1
日

我憲政発達の九大障害『第三帝国』20、10月5日[今井清一編『大正デモクラシー 草の根と天皇制のは
ざま』(社会評論社、1990年)、今井清一編『大正思想集 I』<近代日本思想大系 33>(筑摩書房、1978
年)、『植原悦二郎集』収録]

婦人の新運動『国家及国家学』2-11、11月1日[『家族の伝統と変化』<家族研究論文資料集成 明治大正
昭和前期篇 第14巻>(クレス出版、2001年)収録]

逆行せる立憲政治(文官任用令改正論)『青年』2-11、11月1日

機械と道徳『日本経済新誌』16-4、11月15日

交戦国に対する米国の態度『国家及国家学』2-12、12月1日

我立憲政体の改造『青年』2-12、12月1日

英国婦人と日本婦人[講演大要]『廓清』4-11、12月15日

1915(大正 4)年

独逸の軍閥と我国の軍閥『国家及国家学』3-1、1月1日

選挙法の改正問題『青年』3-1、1月1日

政界の積弊[「我政界の此の陋習を打破せよ」]『大正之日本』3-1、1月1日、

政変の内面解剖『第三帝国』30、1月25日

議会解散の理由『国家及国家学』3-2、2月1日

大隈伯の為に惜む『青年』3-2、2月1日

現今の女子教育『内外教育評論』9-2、2月1日

大博と日米問題『新世界』2月21日

憲政と選挙『国家及国家学』3-3、3月1日

英国の政党及選挙事情[「英国の選挙状態」]『大正之日本』3-3、3月1日、

布哇在留の本邦人『国家及国家学』3-4、4月1日

今期議会の感想[「今期議会観」]『宇宙』4-5、5月1日

米国に於ける欧州の戦乱『国家及国家学』3-5、5月1日

米国の進歩『国家及国家学』3-6、6月1日

日米問題『日米[The Japanese American News]』6月6、13、20、27日、7月4、11、25日

児童の権利『国家及国家学』3-7、7月1日

我政事家と欧米の政治家『国家及国家学』3-8、8月1日

伊国開戦の理由『国家及国家学』3-9、9月1日
本邦人と米人『国家及国家学』3-10、10月1日
疑問の露国『国家及国家学』3-11、11月1日
米国に於ける時局論『国家及国家学』3-12、12月1日

1916(大正5)年

我領事館制と海外発展『国家及国家学』4-1、1月1日
二重国籍問題[談]『東京朝日新聞』1月12日
[「植原悦二郎氏より(芝)」]『新理想主義』60、1月25日
商工業主義と民族発展論『金星』4-2、2月1日
差別刑論『国家及国家学』4-2、2月1日
憲法政治と普通選挙『新理想主義』61、2月5日
吉野博士の憲法論を評す『国家及国家学』4-3、3月1日[太田雅夫編『資料大正デモクラシー論争史 上巻』(新泉社、1971年)、『植原悦二郎と日本国憲法』、『植原悦二郎集』収録]
比律濱と米国と日本『新小説』21-3、3月1日
社会制度と吾等の生活『中外日報』3月7、8日
*余が在米日本人観『新日米評論』3、3月
憲政上の迷信『洪水以後』9、4月1日
上杉博士の憲法論を評す『国家及国家学』4-4、4月1日[太田雅夫編『資料大正デモクラシー論争史 上巻』(新泉社、1971年)、『植原悦二郎と日本国憲法』、『植原悦二郎集』収録]
吉野氏の憲法論と民本主義『日本及日本人』680、5月1日[太田雅夫編『資料大正デモクラシー論争史 上巻』(新泉社、1971年)、『植原悦二郎と日本国憲法』、『植原悦二郎集』収録]
所謂日米問題(第四回講演会席上)『日本移民協会報告』9、5月15日
米国より帰りて一講演一『国家及国家学』4-6、6月1日
戦時の米国と戦後『太陽』22-8、6月15日
戦乱後の欧州問題『国家及国家学』4-7、7月1日
白館は何人を迎ふる乎『新小説』21-7、7月1日
政党三首領の会見『青年』4-7、7月1日
徹底せる民本政治 自分の生活と国家及び社会『第三帝国』70、7月1日
選挙法改正問題『日本及日本人』685、8月1日
立憲国に於ける行政・司法、立法三権の関係『国家及国家学』4-9、9月1日
戦後の英帝国[「英国研究」]『青年』4-9、9月1日
英米警察の側面観察[文責在記者]『日本警察新聞』379、380、9月11、21日

欧州戦後の列国 競争と太平洋の将来『第三帝国』75、9月15日
国民性論—日本民族と英国民族—[「日本国民性の比較研究」]『日本評論』18、10月1日
人を見て法を説け[談「雄弁回顧録」]『雄弁』7-11、10月1日
主権論、統治権、君主、人民の根本的解釈『第三帝国』76、10月15日
憲法上より見たる今回の政変『国家及国家学』4-11、11月1日[「寺内内閣成立の理由」と改題・補筆して、
『日本民権発達史』(政教社、1916年11月23日)付録に収録、同書から『植原悦二郎と日本国憲法』
収録]
[「寺内内閣を如何に観るか」]『日本評論』19、11月1日
ウヰルソンの当選と日米関係『日本経済新誌』20-6、12月15日

1917(大正6)年

日本今後の殖民政策と人種問題『新小説』22-1、1月1日
大英帝国の革命期『日本及日本人』696、1月1日
大正の国是『日本経済新誌』20-7、1月1日
各国の内政問題『大阪毎日新聞』1月4、5日
立憲政治と超然内閣『経済時論』1-2、2月1日
国家の起源『国家及国家学』5-2~4、2月1日、3月1日、4月1日
現今に於ける我国の政党『青年』5-2、2月1日
皇室の尊厳神聖と立憲政治『第三帝国』81、2月1日
英国の選挙法改正問題『日本及日本人』699、2月11日
大権と責任内閣 超然内閣、官僚内閣は却つて累を及ぼす『第三帝国』82、3月1日
[「首相と内相の訓示に対する批評」]『日本評論』23、3月1日
立憲政治と超然内閣[談]『電業世界』91、3月15日
主義政見の同ぜる人[「如何なる候補者を選挙すべき乎」]『新日本』7-4、4月1日
戦後に於ける日本の植民改革『日本経済新誌』21-1、2、4月1、15日
英国婦人の政治運動『青年』5-5、5月1日
弁論と英国の政治家『雄弁』8-6、5月1日
憲政実現の根本義『第三帝国』84、5月10日
政友会総裁原敬に与ふる書『新小説』22-7、6月1日
予の政治意見を述ぶ[「初めて議政壇上に立つに當つて予の政治意見を述ぶ」]『中央公論』32-6、6月1日
日本帝国の将来を考慮して—天祐に救はるゝ祖国の幸運無限なりや—『新世界』6月12日
臨時外交調査会に対する観測『日本及日本人』707、6月15日
臨時外交調査会と国民党の態度[「外交調査会八面観」]『新公論』32-8、7月1日[「犬養毅とロイド・ジョ

ージ』収録]

臨時外交調査会と我憲政『新小説』22-8、7月1日[『犬養毅とロイド・ジョージ』収録]

単純なる内閣の諮問機関か[「臨時外交調査会に対する批評」]『青年』5-7、7月1日

*我政界廓清の根本問題『青年雄弁』2-7、7月1日

生活難の日本へ帰へるより比較的生活愉快の米国に留まれ『新世界』7月5日

議員生活の感想『青年』5-8、8月1日

寒心すべき議会の現状[「初めて議会に列して」]『太陽』23-9、8月1日

議会に於る感想[「月曜論壇」]『国民新聞』8月10日

議院制度上の二欠陥『日本及日本人』711、8月15日

民本主義と婦人解放論『新日本』7-9、9月1日

世界大戦第四年の初頭に立ちて[「提唱」]『日本評論』2-9、9月1日

選挙法改正問題横議『青年』5-10～12、10月1日、11月1日、12月1日

自衛的戦争と侵略的戦争『中外』1-1、10月1日

石鼓生の批評に感謝す『日本及日本人』715、10月1日

在留同胞諸君に望む『歓迎形式を廃し資料を與へられよ』『新世界』10月6日

使命は米国々状の観察にあり[「国民を代表し渡米するに際して」]『大学評論』1-10、11月1日

民本主義と婦人解放論[文責記者]『廓清』7-12、12月1日

米国民の意嚮 議員視察団に加はりて『大阪毎日新聞』12月24～28日

1918(大正 7)年

予算案に対する私言『経済時論』3-2、2月1日

米国視察談—講演—『国家及国家学』6-2～4、2月1日、3月1日、4月1日

渡米視察団北米大陸遍歴日抄『新小説』23-2、3、2月1日、3月1日

モンロー主義を拡充せる米国の参戦『中外』2-2、2月1日

日本人の愛国心と米国人の愛国心『日本評論』81、2月1日

第四十議会の所感『黒潮』3-3、3月1日

政局大観『新時代』2-3、3月1日

講和及戦後に対するウキルソン大統領の態度『青年』6-3、3月1日

*普通選挙論『青年雄弁』3-3、3月1日

お殿様式の大臣と野武士式の議員[「現内閣十大臣の平面的立体的月旦」]『中外』2-3、3月1日

警察権の行使は人民の保護[文責記者]『日本警察新聞』432、3月1日

米国の戦時社会状態[「問題と観測」]『東洋経済新報』807～810、3月5、15、25日、4月5日

所謂西伯利亚出兵問題に関する私見『青年』6-4、4月1日
[「東京市長問題解答」]『青年』6-4、4月1日
資本家本位の社会政策—鈴木梅四郎君の社会政策論—『大学評論』2-5、5月1日
予が米国軍備観『東方時論』3-5、5月1日
現代政治並に立憲政治の純理両方面より観たる帝国議會『朝鮮公論』6-5、5月1日
世界の進運と選挙権拡張『日本及日本人』732、6月1日
日独同盟論と危険思想『朝鮮公論』6-7、7月1日
大正の青年に与ふる書『雄弁』9-8、7月1日
西伯利亚出兵問題『新公論』33-8、8月1日
講和談判と我国の方針『日本及日本人』736、8月1日
米国の浦港出兵要旨と日本 堂々たる民主的運動の光芒[「西伯利出兵に対する政治的並に経済的批判」]『朝鮮公論』6-9、9月1日
国民生活難の根本的解決策『経済時論』6-9、10月1日
政權授受の真相と閥族の凋落『中外』2-11、10月1日
原内閣と其閣員[「原内閣論」]『青年』6-9、10月12日
講和来は内乱勃発の時『自由評論』6-12、11月1日
我政界現状の解剖『中外新論』2-11、11月1日
選挙権拡張問題—大なる距離は要求と実現との間に横はる『東方時論』3-12、12月1日
戦時の日本『雄弁』9-13、12月1日
米国戦勝の理由[「世界大戦に於ける各国の統一状態」]『亜細亜時論』2-12、12月11日

1919(大正 8)年

美人は英雄を好む[「英雄と美人」]『日本及日本人』747、1月1日
日米問題の将来『山陽新報』1月4日
普通選挙まで[談「壇上の苦心」]『読売新聞』1月29日
欧州戦乱と米国政界の将来『大観』2-2、2月1日
正義人道を尚ぶ人—ローズヴェルト氏の死を悼む[談]『朝鮮公論』7-2、2月1日
[「代議士の婦人観」]『読売新聞』2月7日
緊急決定を要する重要政策[「現代日本を生命つけるは如何なる政治乎」]『新時代』3-3、3月1日
人種的差別撤廃論『信州』1-2、3月1日
若き者の権利を主張せよ[「青年国民に選挙権を与へよ」]『寸鉄』1-3、3月1日
英国のデモクラシー『大観』2-3、3月1日
講和に対する我国の態度[「講和問題と国論」]『日本及日本人』752、3月15日

普通選挙運動所感『太陽』25-4、4月1日
英国の自由主義と民主政治『日本及日本人』754、4月5日[『日本及日本人』1585、1987年1月に収録]
長所此の如く多し[「米人の社会生活につき何を学ぶべきか」]『実業之日本』22-8、4月10日
新選挙法の解剖『雄弁』10-6、5月1日
政治と生活『有効な活動』5-5、5月15日
講和問題私見『自由評論』7-6、6月1日
正義の仮面の下に行はれんとする米国の野心『新公論』34-6、6月1日
朝鮮統治策『日本及日本人』760、7月1日
愛する人と結婚する[「私が女なら」]『国民新聞』7月27日
労働問題の根本的解決策『労働世界』4-8、8月1日
資本と労働『法律新聞』1579、8月8日
デモクラシーの意義『法律新聞』1580、1581、8月10、13日
朝鮮統治と新任総督及び政務総監『法律新聞』1583、8月18日
思想取締問題『法律新聞』1584、8月20日
税制の根本改革『法律新聞』1586、8月23日
社会政策としての住宅問題『法律新聞』1587、8月28日
西侯の帰朝と外交問題『法律新聞』1588、8月30日
我国労働問題の帰趣『信州』1-8、9月1日
米国近時の対日態度『太陽』25-11、9月1日
税務官吏の収賄問題『法律新聞』1589、9月3日
山東問題に関する米国諸新聞の論評『法律新聞』1590、9月5日
二科会に於けるO氏の肖像問題『法律新聞』1592、9月10日
国際労働大会と我国の代表者『法律新聞』1595、9月18日
労働大会派遣代表者選挙会の経過『法律新聞』1598、9月25日
選挙干渉と選挙の腐敗『法律新聞』1599、9月28日
陪審制度に対する司法官の態度『法律新聞』1601、10月3日
物価調節問題『法律新聞』1602、10月5日
大蔵省官吏の増俸運動『法律新聞』1604、10月10日
普通選挙と地方自治『法律新聞』1605、10月13日
市政の根本改造『法律新聞』1608、10月20日
司法権の解釈『法律新聞』1609、10月23日
憲政発展の一大障碍礙『法律新聞』1611、10月28日

普通選挙実施の必要『中外新論』3-11、11月1日
警視總監と内閣『法律新聞』1613、11月3日
現内閣と政友会『法律新聞』1614、11月5日
枢密院官制の改正『法律新聞』1615、11月8日
独占事業に於ける資本家の横暴『法律新聞』1616、11月10日
文官任用令の改正『法律新聞』1617、11月13日
再び現内閣の立憲的地位を論ず『法律新聞』1620、11月20日
陪審制度と憲法問題『法律新聞』1621、11月23日
加藤総裁の立憲政治『法律新聞』1622、11月25日
侠客団の墮落『法律新聞』1624、11月30日
総ての中心たらんとする労働問題[「我国の政治及外交上より見たる労働問題」]『新時代』3-12、12月1日
労働組合公認の急務[「論説」]『新組織』1-3、12月1日
既成政党の革命[「普通選挙の実施と既成政党の省長」]『太陽』25-14、12月1日
米國に於ける講和条約の運命『法律新聞』1626、12月5日
労働會議と我國の國際的地位『法律新聞』1627、12月8日
院外の奮起を望む[「普通選挙促進」談]『大阪朝日新聞』12月8日
文官任用令の改正と立憲政治『法律新聞』1628、12月10日
日本の巡査と欧米の巡査『法律新聞』1630、12月15日
第四十二帝國議會の逆賭『法律新聞』1633、12月23日
世界に於ける労働問題の趨勢『法律新聞』1634、12月25日
大正八年の回顧『法律新聞』1636、12月30日

1920(大正 9)年

労働者心理の相違『新組織』2-1、1月1日
悪税改廢の急務『寸鉄』2-1、1月1日
普選終不絶油虫 労党畢竟街奈術[「当面の政局観」]『中外新論』4-1、1月1日
欧州各國の改造問題『日本及日本人』773、1月1日
日本巡査と欧米巡査『日本警察新聞』495、1月1日
新年の辞『法律新聞』1637、1月1日
議會は無事に内閣は官僚へ[「政界観測」]『国民新聞』1月7日
今期議會の普通選挙問題『日本及日本人』774、1月15日
労働問題『台湾警察協會雜誌』32、1月25日

〔「兩院改造・労働首領問題」〕『改造』2-2、2月1日
民本主義の徹底〔「現代政治の根本的改造策」〕『青年改造』1-2、2月1日
今議会に於ける重要問題に就て『中外新論』4-2、2月1日
普選は改造の安全弁〔「普選問題」〕『実業之世界』17-3、3月1日
デモクラシーと労働運動の目的『新組織』2-3、3月1日
解散は立憲的乎『日本及日本人』778、3月15日
議会解散の真実相〔「議会解散を中心とする日本政局の徹底的批判」〕『新時代』4-4、4月1日
第四十二議会と立憲政治の前途『太陽』26-4、4月1日
気品の高い英国美人『婦人世界』15-4、4月1日
英国腐敗選挙の矯正策〔「論説」〕『新組織』2-5、5月1日
総選挙の結果と我が政界の危機〔「当面の政治 総選挙の結果と政局の前途」〕『新時代』4-6、6月1日
改造が焦眉の急〔「特別議会に際して」談〕『大阪朝日新聞』6月23日
現行同盟継続の無意味〔談「日英同盟改廢問題」〕『太陽』26-8、7月1日
臨時議会と政界の風雲『日本及日本人』786、7月1日
経済産業組織の改造『実業公論』6-8、8月1日
新青年諸君に檄す『新青年』1-8、8月1日
〔「官吏夏休廃止の功過批判」〕『中央公論』37-9、8月1日
サガレン州占領と米国の抗議的質問に就て『実業之世界』17-9、9月1日
米国近事の排日問題『太陽』26-10、9月1日
女子参政権の要求〔「婦人参政権の叫び」〕『女性日本人』1-1、9月1日
誰も彼も避暑に行く英国婦人—天国のやうな賑はい—『婦人世界』15-9、9月1日
加州排日問題 屈辱外交の非 根本的解決法『東京朝日新聞』9月20、21日〔(上)を『新聞集成大正編年史 大正九年度版 下』(明治大正昭和新聞研究会、1983年)収録〕
アングロサクソンの精神〔「我印象を通しての国粹といふこと」〕『国粹』1-1、10月1日
我国に於ける農業政策の改革に就て〔「論説」〕『新組織』2-10、10月1日
議会及政党改造論『雄弁』11-10、10月1日
排日の真相と其の解決策『太陽』26-13、11月1日
日米間の諸問題『中外新論』4-11、11月1日
四面楚歌の日本『中学世界』23-14、11月1日
加州人の観たる日本人『東方時論』5-11<日米問題号>、11月1日
米国新大統領と対日政策『実業之世界』17-12、12月1日
ハーデングと其施政『新小説』25-12、12月1日

1921(大正 10)年

- 一般の自覚が肝要[「圧迫事件の批判」]『女性同盟』4、1月1日
- 我現代社会組織の厳正批判[「丁酉倫理会倫理講演集」]221、1月10日
- 政治上の見地から[「女教員と政治運動」]『女性日本人』2-2、2月1日
- 雄弁を事実に触れせしめよ[「立教大学弁論部長として」]『雄弁』12-2、2月1日
- 最高能率の發揮『皇道』73、2月10日
- 時代に適応せよ[「離婚自由の問題」]『東京日日新聞』2月17日
- 文化生活の意義[「論説」]『新組織』3-3、3月1日
- 専制に均しき立憲政治[「第四十四議會を通じて觀たる政局現状批判」]『太陽』27-5、5月1日
- [「半どん廢止の可否」]『日本一』7-5、5月1日
- *文化生活『信州』3-6、6月1日<県立長野図書館所蔵>
- 国際連盟の価値『国際連盟』1-4、7月1日
- 普通選挙の実施[「如何にして青年の政治的常識を養成すべきか」]『雄弁』12-7、7月1日
- 改むべき二つの傾向[「学生演説会の緊急問題 弥次の是非」]『雄弁』12-8、8月1日
- 神戸労働争議觀『日本及日本人』815、8月15日
- 秘密政治を好む国民 過去を顧み現在を洞察して将来を[「秘密政治と公開政治」]『自由評論』9-9、9月1日
- 確乎たる対支政策 手腕家か骨董品か[「軍備制限及太平洋會議所觀」]『信州』3-9、9月1日
- 太平洋會議と青年の力『寸鉄』3-9、9月1日
- 太平洋會議の側面觀[「太平洋會議と日本」]『太陽』27-11、9月1日
- 予が渡米の目的『東京朝日新聞』10月6日
- [「死を如何に觀ずるか」]『野依雜誌』1-8、12月1日

1922(大正 11)年

- 華府會議開会前の感想[書信]『大觀』5-1、1月1日
- 味噌を付けた日仏 加藤全権は十八世紀の政治家[談]『読売新聞』1月17日
- 華府會議の我外交 其拙劣は旧式外交制度の罪[談]『中外商業新報』1月19日
- 英支の大成功[談]『東京朝日新聞』1月19日
- 寸地の爲全土を失ふ 幣原全権に仮病呼ばり『新世界』2月11日
- 失敗か成功か華盛頓會議の側面觀[「華盛頓會議參列及び視察者の新帰朝報告」]『実業之日本』25-4、2月15日
- 華府會議に特記すべき新聞記者の活動『新聞及新聞記者』3-2、2月25日[復刻版『新聞及新聞記者』第3卷(金沢文圃閣、2021年)収録]

華府會議に於ける日本の成敗[「華府會議の局内観、局外観」]『太陽』28-3、3月1日
華府會議に於ける我全権の態度『雄弁』13-3、3月1日
[「余が政治生活中最も痛快に感じた事」]『雄弁』13-3、3月1日
時代錯誤と矛盾の生活『婦人公論』7-4、4月1日
新時代の鉄道政策『鉄道』190、4月15日
華府會議を顧みて『信州』4-5、5月1日
議會改造の根本義[「議會改造の批判」]『表現』2-5、5月1日
報道の的確外三点[「来る可き日本新聞界に対する諸注文」]『新聞及新聞記者』3-5、6月30日[復刻版『新聞及新聞記者』第4巻(金沢文圃閣、2021年)収録]
[「何人の内閣を歓迎すべき乎」]『実業公論』8-7、7月1日
[「政変批判と希望条件」]『実業公論』8-7、7月1日
政党の改造と国民の要求[「政界革新運動の前途」]『寸鉄』4-8、7月1日
[「貴下が実行され又実行せんとする銷夏法。夏季休養日を如何に活用すべき乎。夏期休暇廢止の可否に就いて」]『実業公論』8-8、8月1日
加州排日土地法と米國憲法問題『太陽』28-10、8月1日
国民生活の標的に[「春秋会に対する所感と希望」]『新聞及新聞記者』3-6、8月15日[復刻版『新聞及新聞記者』第5巻(金沢文圃閣、2022年)収録]
長春會議の側面観『中外商業新報』9月1、2、4日[『新支那』9月17、19、20日に転載]
私の育てられた環境[「『男子専制』に就ての考察」]『女性日本人』3-10、10月1日
[「余が過去に於ける志望の推移と現在の職業並其の感想」]『現代』3-11、11月1日
[「当今の物価の中何を先づ引下ぐべき乎(一)。物価引下には如何なる方法を斷行すべき乎(二)」]『実業公論』8-11、11月1日
地方自治の現状 財政税制・行政機關二方面よりの考察『地方行政』30-11、11月1日
空中輸送の現化『鉄道』197、11月15日

1923(大正 12)年

枢密院の越権行為 重大なる越権行為『読売新聞』1月14日[『新聞集成大正編年史 大正十二年度版 上』(明治大正昭和新聞研究会、1984)収録]
日支郵便問題と枢府の行為『実業公論』9-2、2月1日
婦人の政治的人権の自覚[「議會政治と現代婦人」]『女性日本人』4-2、2月1日
日支外交と枢密院問題『太陽』29-2、2月1日
将来の交通機關—鉄道、自動車、航空機—『鉄道』200、2月15日
[「日露通商の促進・尼港事件の賠償」]『実業公論』9-3、3月1日
危機に頻せる我國の産業—産業革新の意義—『産業界』2-4、4月1日

携はる人物が問題[「新聞記者が社を背景として政治運動に携はるの可否」]『新聞及新聞記者』4-4、4月15日[復刻版『新聞及新聞記者』第6巻(金沢文圃閣、2022年)収録]

「諸家の対支・満鮮観」『実業公論』9-5、5月1日

「当面の問題 日露の国交を何うする」『中外商業新報』5月1日

財源は充分[談、「地租委譲問題は是非」]『東京朝日新聞』6月12日

米国にも此煩悶あり『憲政公論』3-8、8月1日

補填財源に心配はない[「地租移譲と賛否論」]『農政研究』2-10、9月1日

政界革新には妙なり[「山本内閣と復興問題」]『実業公論』9-12、12月1日

1924(大正 13)年

普選の洗礼を受けて根本的に改造さるゝ社会相『神戸新聞』1月1日

選挙権の拡張と国民教育[「普選と学校の政治化 諸名家談」]『日本教育』3-1、1月1日

貴族院改革問題『木堂雑誌』1-1、1月1日

普選の効果[「普選が実施されたら」]『北国新聞』1月1日

大正維新に徹せよ[「起て！満天下の青年諸子」]『雄弁』15-1、1月1日

普通選挙の効果『京都市出新聞』1月1、2日

真剣なる政治生活の建設『現代』5-2、2月1日

聴衆の心を掴むのは最初の五分間 平易簡潔な用語を用ひて人生に即すること[インタビュー記事「雄弁自讃」]『サンデー毎日』3-11、3月9日

排日立法と国民精神の帰趨『朝鮮及満洲』200、7月13日

立憲政治の本義に悖る二院制度の運用を理解せよ[「貴族院改革問題」]『国論』10-8、8月1日

護憲内閣の成立と特別議会『木堂雑誌』1-7、8月1日

通信機関と人文の発達[「説苑」]『通信協会雑誌』194、10月1日

家庭の温みで[「歳ごろの娘を異性の誘惑から防ぐ方法如何」]『婦人公論』9-10、10月1日

政党に利用されるな—失敗の原因は青年の無自覚から—『新使命』1-1、10月15日

普選の実施と地方自治『地方行政』32-11、11月1日

英国政変の意義『木堂雑誌』1-10、11月5日

1925(大正 14)年

「我が家の三ヶ日」『アサヒグラフ』4-1、1月1日

第五十議会観『北国新聞』1月1日

強敵なき歎[「新日本を孕む第五十議会に直面して」]『京都日日新聞』1月3日

第五十帝国議会観『京都市出新聞』1月3日

強敵なき歎[「第五十議会に臨みて何を求め何を為すべき乎」]『神戸新聞』1月3日
十年の辛棒が要る 効果は直ちに挙げぬ[「稔りゆく普選の美果 其実施後の政治的変転」]『山陽新報』1月3日
亜細亜民族の団結と日支提携『工場世界』6-1、1月5日
憲政の革命的变化[「普選になったら」]『福岡日日新聞』1月6日
地方自治と女子参政権『地方行政』33-2、2月1日
道徳、政治、生活 完全なる政治制度と生活道徳[「議會生活者の道徳的批判」]『文化生活』3-2、2月1日
[「女子高等教育と諸家の意見」]『婦女新聞』1287、2月8日
我國民衆政治の将来『現代』6-3、3月1日
[「及第か落第か 日露交渉の成績 諸名士の日露交渉成立批判」]『植民』4-3、3月1日
[「あなたの夫人、令嬢、令妹などが職業を持つことをお望みになりましたら」]『婦人之友』19-3、3月1日
[「普選実施後の政界分野観」]『憲政公論』5-4、4月1日
*無線電話の流行と現代女性の真理『ラヂオ』4月
一哲人の観たる我電気事業の将来[「電気倶楽部講演要旨筆記」]『電気之友』611、5月15日
政界分野の大なる展開は第二回以後であらう[「普選実施に伴ふ政界将来の分野」]『日本教育』4-6、6月1日
普選の実施と学生『明治大学駿台新報』88、6月13日
英国留学時代[「諸名士が我社の質問に答へられた『余が今日になるまでに最も苦心した一節』」]『実業之日本』28-13、7月1日
[「無産階級政党的出現に就て」]『政治研究』3-6、7月1日
[「日曜と家庭」]『婦人公論』10-7、7月1日
『現代日本の政治過程』大山郁夫氏の新著を読む[「読書ページ 新著週評」]『東京朝日新聞』7月12日
普選と青年有権者[「一人一話」]『東京』2-8、8月1日
現代日本の新聞雑誌と政治『日本及日本人』83、10月5日
支那関税会議の側面観『政友』297、298、12月1日、**1926年**1月1日

1926(大正 15・昭和元)年

[「成功の第一要件」]『キング』2-1、1月1日
支那は破滅乎復興乎『日本及日本人』93、3月1日
露支の接近と新対支政策『外交時報』510、3月1日
郡廃善後に定見なし『国論』12-4、4月1日
[「是か非か台湾議會と朝野の輿論」]『植民』5-4、4月1日
日露支三国の關係 共存共栄の方策を確立せよ『国際知識』6-3、5月1日

公民権付与は廿歳が至当『自治公論』3-2、5月1日
新聞雑誌も悪い[「此の醜悪劣等極る政治を革清するには」]『新使命』3-5、5月1日
普選実施と無産政党[「無産政党の将来に就いて」]『日本教育』5-5、5月1日
支那の政府と政治『支那』17-5、5月15日
支那に対する私の第一印象『ツーリスト』14-3、5月25日
[「細君の俸給」問題は是非]『婦人公論』11-6、6月1日
到所有山は主観的事実[「海外発展者諸子におくる言葉」]『植民』5-7、7月1日
支那の政治家『支那』17-7、7月15日
関税会議失敗の原因『国論』12-8、8月1日
長野の騒擾事件と司法権の行使『法律春秋』1-2、10月1日
簡易保険事業の成績『通信協会雑誌』218<簡易保険創始十周年記念>、10月10日
高橋清吾氏著—『現代政治の科学的観測』[「読書ペーヂ」]『東京朝日新聞』12月17日[『現代政治の科学的観測』に関する植原悦二郎氏对吉村正氏の論争について](政治科学研究会、1927年)収録
吉村氏の駁論を駁す『東京朝日新聞』12月31日[『現代政治の科学的観測』に関する植原悦二郎氏对吉村正氏の論争について](政治科学研究会、1927年)収録

1927(昭和2)年

反響を気にするな[「現代新聞経営策批判」]『新聞及新聞記者』8-1、1月1日
[「解散か否か」]『中外商業新報』1月1日
北京の巻[「世界のモダンガール物語」]『婦人世界』22-1、1月1日
迎年の経済界『文化生活』5-1、1月1日
大正は過渡昭和は更始『日本及日本人』116、1月15日
幣原外交の外交演説を評す 内容貧弱の御座なり式『国論』13-2、2月1日
对支外交に就て外相に質す[1月25日衆議院速記録抄録]『政友』313、3月1日
憂ふべき支那の現状と幣原外交『中央公論』24-3、3月1日
[「若し私が文部大臣を選ぶとすれば？」]『文化生活』5-3、3月1日
混沌たる日本の現状[「隨筆」]『文芸春秋』5-3、3月1日
第二次軍縮会議『国際知識』7-4、4月1日
支那の現状『創造日本』1-1、4月1日
問題は確固たる对支政策の樹立にある[「支那時局観」]『実業之世界』24-5、5月1日
政友会が天下を取る夢[「余が最近見たる面白い夢」]『ワールド』4-5、5月1日
英露国交断絶の極東に及ぼす影響『財界レビュー』5-6、6月15日
英露断交の極東に及ぼす影響『国論』13-7、7月1日

支那出兵と其の価値[「対支出兵批判」]『実業時代』4-7、7月1日
東方会議の意義『国際知識』7-8、8月1日
対支外交の将来[「傾向と批判」]『青年日本』3-8、8月1日
支那に対する根本観念『外交時報』548、10月1日
随感随想『ワールド』4-10、10月1日
故国の近状に関し余の観察を其儘に在米同胞に語らんと欲す『新世界』10月3～5日
満州排日問題の経過『創造日本』1-8、11月1日
誤まれる見解[「普通選挙第一戦の総決算の八面評」]『中央公論』42-11、11月1日
日支国民の心的結合『拓殖公論』19、12月1日

1928(昭和3)年

現政府の満蒙政策『東方公論』3-1、1月1日
溢れる人口を何処へ捌くか 我国の根本的植民政策『北海タイムス』1月1日
南洋への移民 我根本的植民政策『山陽新報』1月4日
我国の根本的植民政策『河北新報』1月5日
支那南北兩派の観点[「対支問題」]『我観』52、2月1日
我が普選実験の厳正批判『法曹公論』32-4、4月1日
優生運動と避妊調節『優生運動』3-4、4月1日
青年士気の脆弱[「学校と学生」]『万朝報』4月12日
*我普選実験の厳正批判『講演』37、4月20日
我が対支政策の根本観念『外交時報』565、6月15日
支那動乱と日本の将来『貿易』28-6、6月15日
支那の現状(スポイルド、チャイルド)『経済生活』6-8、8月1日
忙しい夏[「銷夏漫談」]『通信協会雑誌』240、8月10日
興味ある米国の大統領選挙『政友』334、9月1日
田中外交と幣原外交『東京朝日新聞』9月22～24、26、27日[『木堂雑誌』5-4、10月1日に転載。22日付を『新聞集成昭和編年史. 昭和三年度版 3』(明治大正昭和新聞研究会、1989年)収録]
日本と支那『国際知識』8-10、10月1日
国際間の雰囲気『政友』335、10月1日
[「床次第三党の将来」]『祖国』1-1、10月1日
田中外交と幣原外交『木堂雑誌』5-4、10月1日
演説成功の秘訣[「大雄弁家体験話」]『雄弁』19-10、10月1日
故国の近状に関し余の観察を其の儘に在米同胞に語らん『新世界』10月3、5日

幣原男と其対支外交[「幣原喜重郎・久原房之助」]『改造』10-11、11月1日

政友会新総裁と支那関係『国論』15-11、11月1日

田中内閣対支外交は是非か『祖国』1-2、11月1日

政友会外交と民政党外交[「主潮」]『法律春秋』3-11、11月1日

正々堂々たる米国の逐鹿戦『雄弁』19-11、11月1日

選挙革正の急務『国論』15-12、12月1日

積極的海外発展の企図[「明年度予算概要」]『政友』337、12月1日

1929(昭和4)年

進んで支那を導け『東方公論』4-1、1月1日

日支関係の現状『日支』2-1、2、1月1日、2月1日

我国民と対支外交[「国民政府の所謂満蒙及満鉄回収論」]『改造』11-2、2月1日

政治家の資格問題と国民の政治的覚醒『経済生活』7-3、3月1日

[「私は妻や嫁に斯うして貰ふのが一番嬉しい」]『婦人倶楽部』10-3、3月1日

議会後の政局[「議会後の政界はどうなる」]『改造』11-4、4月1日

第五十六議会を顧みて『政友』341、4月1日

[「議会後の政界予測」]『祖国』2-4、4月1日

範を何れに求める[「最近の学生弁論会に就ての感想」]『雄弁』20-4、4月1日

今期議会の感想[「今期議会観」]『宇宙』4-5、5月1日

醜い出しやばり[「こんな婦人は御免です」]『婦人倶楽部』10-5、5月1日

排日を慮りて[「邦人のアマゾン進出に就て」]『ブラジル』3-5、5月1日

憲政の運用と枢密院『政治経済時論』4-6、6月1日

大英国の政界とマクドナルド首相の人物『実業時代』6-7、7月1日

政治と国民生活 国民の政治的覚醒と生活の向上『経済生活』7-8、8月1日

[「一、公経済上 二、私経済上 三、個人生活上の無駄」]『祖国』2-8、8月1日

幣原外交の対支政策『東方公論』4-8、8月1日

憲政常道と浜口内閣[「随想と文化批判」]『法律春秋』4-8、8月1日

現代世界巨人批判会『雄弁』20-8、8月1日[座談会：堀口九萬一、千葉龜雄、鶴見祐輔、鈴木文治、米田実]

時の勢ひ[「現代世相展望」]『東京朝日新聞』8月22日

縁談と婚礼の座談会『婦人倶楽部』10-10、10月1日[座談会：小西久遠、水野しげき、安部こま子、山脇房子、竹内茂代、三輪田元道]

支那時局観『東方公論』4-11、11月1日

一家を楽園たらしむる人[「新時代の奥様資格」]『婦人倶楽部』10-11、11月1日

実行予算と憲法論[「随想と文化批判」]『法律春秋』4-11、11月1日

政治家に年令無し『木堂雑誌』11月号[6-7]、11月1日

政党と地方自治団体『斯民』24-12、12月1日

民政党立憲的か政友会立憲的か『政治経済時論』4-12、12月1日

減俸問題の政治的責任『祖国』2-12、12月1日

誰にも話さなかつた話『文芸春秋』7-12、12月1日

1930(昭和5)年

[「総選挙を前にして大衆に訴ふ」]『改造』12-2、2月1日

解散後の政党と其帰趨[「解散後の政党とその動向」]『経済往来』5-2、2月1日

名利を需めざる巨人政治家『現代』11-2、2月1日

浜口内閣と軍縮会議『政治経済時論』5-5、5月1日

[「失業問題の根本的解決法」]『祖国』3-5、5月1日

議会に現はれたるロンドン会議『国論』16-6、6月1日

現内閣の対支外交『政界往来』1-1、8月1日

[「産業合理化と失業問題は因果の関係ありや?」]『政治経済時論』5-8、8月1日

本誌主催学生大討論会 日米戦ふの日ありや否や『雄弁』21-8、8月1日[討論会: 五来素川、本城廣信、川崎三藏、河村博家、曾谷総一、松尾隆男、森茂、竹内重利]

[「枢密院存在の是非」]『政治経済時論』5-10、10月1日

[「失業救済の具体策」]『政治経済時論』5-10、10月1日

不景気の実相と政治経済的教育—経済調査に就ての所感—『政友』361、10月1日

幣原外交の瞥見『外交時報』621、10月15日

疑問の支那『新亜細亞』1-1、11月1日

時事漫談『政界往来』1-4、11月1日

時局に就ての所感『東方公論』5-11、11月1日

枢密院存廃論『法律春秋』5-11、11月1日

我皇室と一視同仁[「御盛徳誌上謹話会」]『婦人画報』305、11月3日

1931(昭和6)年

政党内閣と政策『法律春秋』6-1、1月1日

第五十九議会の展望『木堂雑誌』8-1、1月1日

この花をして良果を結ばしめよ! [「直ぐ応用出来る模範式辞挨拶卓上演説集」]『雄弁』22-1、1月1日

難しい支那の謎『政界往來』2-2、2月1日
満蒙と列強関係『政治経済時論』6-2、2月1日
[「一 既成政党を如何に浄化すべきか 二 既成政党へ期待すべきことありや 三 政民両党々勢今後の予想」]『祖国』4-3、3月1日『祖国』4-3、3月1日
異常なる議会[「議会制度批判」]『法律春秋』6-3、3月1日
臨時首相代理の失言と議会の紛擾『文芸春秋』9-4、4月1日
弄ばれた議会『政界往來』2-5、5月1日
日露関係と漁業問題『政治経済時論』6-6、6月1日
七転八起の覚悟と自覚[「政治家として若く生きる工夫」]『実業之世界』28-7、7月1日
民政党の幣原外交礼賛『政友』371、8月1日
法律万能と憲政の破壊[「随想・批判」]『法律春秋』6-8、8月1日
民政党の幣原外交礼賛『東方公論』6-9、9月1日
粘り強さ[「人の評判 吉沢謙吉」]『文芸春秋』9-12、12月1日
満州問題と国際連盟[「随想・批判」]『法律春秋』6-12、12月1日

1932(昭和7)年

憲政のためのみの解散は不可である 今議会は無事と考へる[「第六十議会の展望」について]『山陽新報』1月1日
非[「挙国一致内閣是非」]『政界往來』3-1、1月1日
内閣を信頼せよ[「政界名士の政局観 犬養内閣の展望」]『大阪時事新報』1月6日
満蒙問題と列強『政治経済時論』7-2、2月1日
洋々たる光明を認む[「同志よ、全国民よ、国家の為に民政党を排撃せよ—政友会院外大会における来賓演説スケッチ」]『政友』377、2月1日
国難を打開し得るは我党あるのみ—開会の辞—『政友』378、3月1日
アメリカの真相を語る座談会『現代』13-5、5月1日[3月25日(於帝国ホテル)座談会：東善作、安達堅造、大山卯次郎、勝田貞次、久米正雄、関根郡平、奈良静馬、早川成治、古城胤秀、米田実]
対満国策の基調『東洋』35-5、5月1日
立憲政治の危機『木堂雑誌』9-5、5月1日
決心を貫いた青年[「名家諸説」]『現代』13-6、6月1日
故犬養総裁を偲ぶ『政友』381、6月1日
創造時代の満州国『創造』2-5、6月1日
新内閣随一の雄弁家[「新内閣の華！輝く雄弁人永井拓相論」]『雄弁』23-7、7月1日
支那の不安『実業之世界』29-8、8月1日
時事漫談『政界往來』3-9、9月1日

議会振肅『現代』13-10[第二特輯 時局解説辞典]、10月1日

リットン報告書を読み『政治経済時論』7-11、11月1日

非常時日本と女性の覚悟を促す座談会『婦女界』46-5、11月1日[座談会：木村桂、谷寿夫、水野広徳、福永恭助、菊池寛、鳩山薫子、山田わか、吉屋信子]

満州国承認と国際連盟[時事問題演説会於朝日講堂]『婦女新聞』1692、11月13日

堅き信念の赴く所 国際連盟も眼中になし[「注目すべき連盟総会の成行と我等の覚悟 再び十三對一となつたら」]『実業之世界』29-12、12月1日

米国大統領改選と極東政策『政友』388、12月1日

[「忘れ得ぬ母の一言」]『報知新聞』12月27日

*日本を組上に載せて『近代』12月号

1933(昭和8)年

結婚生活を幸福にする座談会『婦人倶楽部』14-1、1月1日[座談会：伊藤奎二、鳩山薫、岡本かの子、竹内茂代、丸木砂土、丸山茂子]

政界縦横談[「随想」]『政治経済時論』8-3、3月1日

円満玉の如し 玉置金八氏の家庭[「私の見た模範家庭」]『現代』14-4、4月1日

木堂先生の一周忌に際して『木堂雑誌』10-5、5月1日

ロンドン経済会議の雲行『政友』394、6月1日

*連盟脱退後の日本『政界春秋』19-6、6月

行き詰れる教育を語る『帝国教育』633、9月1日[7月12日、帝国教育会主催第二回座談会(於教育会館)。出席者：芦田均、小泉信三、田川大吉郎、小林順一郎、本間利雄、小山完吾、東郷実、武部欽一、鎌田栄吉]

[「一、私が二十才前後に抱いた希望・目的 二、自分の子供はこれらは何にしたいか」]『実業之日本』36-19、10月1日

映画国策は国家施政の大綱[「時論・時評・時言」]『国際映画新聞』112、10月20日

[「如何にして政党政治を護る?」]『政界往来』4-11、11月1日

人心不安と憲政擁護『政治経済時論』8-11、11月1日

1934(昭和9)年

公民教育と議会政治の完成[「非常時教育方策に寄す 教育大会決議の検討」]『帝国教育』640、1月1日

独裁政治と議会政治『木堂雑誌』11-2、2月1日[『帝国内外の情勢』収録]

政党解消論と立憲政治[「政党解消はか非か」]『雄弁』25-3、3月1日

政党解消論と立憲政治『木堂雑誌』11-4、4月1日[『帝国内外の情勢』収録]

特別会計座談会『通信協会雑誌』308<通信事業特別会計実施記念>、4月10日[座談会：南弘、前田利定、安達謙藏、望月圭介、三土忠造、古島一雄、中野正剛、小池仁郎、内田信也、若宮貞夫、桑山鐵男、

川崎克、東郷實、坂野鉄次郎、伊豆富人、宮澤裕、牧野良三、大橋八郎、立花種忠、上ノ畑悌二、平沢要、平井貞三、武田泰郎、久埜茂、山本直太郎、米沢與三七、富安健次、猪熊貞治、西邨知一]

米国訪問議員団の追憶『国際知識』14-5、5月1日

非常時妙薬[「随筆」]『文芸春秋』12-5、5月1日

芝居見物『政界往來』5-7、7月1日

国家非常時と農村民『国論』1-6、8月11日

官僚内閣と国民の悲哀『青年日本』10-10、10月1日

日満関係の重大性『木堂雑誌』11-11、11月1日

1935(昭和10)年

非常時の内容と政党『政友』414、1月1日

木堂先生と東亜問題『木堂雑誌』12-1~6、1月1日、2月1日、3月1日、4月15日、5月15日、6月1日[1934年6月13日座談会(於交詢社)：副島義一、柏原文太郎、萱野長知、平山周、古島一雄]

議院法改正提案の理由[衆議院演説要旨]『政友』417、4月1日

木堂と立憲政治『経済往來』10-5、5月1日

言論の自由と議会政治の前途[「論説」]『政治経済時論』10-7、7月1日

選挙肃正問題に就て『政友』420、7月1日

腑に落ちぬ事[「随筆」]『文芸春秋』13-7、7月1日

日本人の付和雷同性『政界往來』6-9、9月1日

責任内閣の実現に俟つ[「どうすれば選挙肃正が出来るか」]『雄弁』26-9、9月1日

地方自治の危機[「選挙演説模範例」]『雄弁』26-10、10月1日

[「地方選挙戦の感想」]『政界往來』6-11、11月1日

政党政治確立の要『政友』424、11月1日

1936(昭和11)年

[「一 選挙肃正の効果如何 二 退職金積立金法案の是非」葉書回答]『政治経済時論』11-1、1月1日

[「国防費激増と所謂肃正選挙と」]『木堂雑誌』13-1、1月1日

我がツーリスト事業界に対する希望『ツーリスト』24-1、1月10日

[「これからは如何なる学校・学科を選ぶべきか」]『実業之日本』39-3、2月1日

珍無類の法律『政界往來』7-2、2月1日

実現が可能かどうかー出来得れば話術科として加へたい[「中等学校以上に雄弁科設置の可否」]『雄弁』27-2、2月1日

今の日本[「私の見方」]『時事新報[夕刊]』4月9日

貴族院改革問題『時事新報』4月9、11日
華族制度[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』5月8日
庶政一新論『政治経済時論』11-6、6月1日
今期議会の世評[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』6月3日
新聞の『三面記事』[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』6月25日
今期議会の成果『文芸春秋』14-7、7月1日
*重臣の排除は国民の決意次第『事業之日本』15-7、7月
庶政一新の帰趣[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』7月24日
日本は何処へ行く[「支那に於る新情勢の展開と日本外交」]『経済情報』11-22、8月11日
二千六百年の日本[「随筆・随評」]『国際知識』16-9、9月1日
内閣の性質[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』9月2日
[記事「海外放送を通じて”日本の姿”を語る」中の9月1日海外放送講演「日本の姿」要旨]『日布時事』9月2日
西班牙の動乱[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』9月20日
議会制度改革と常置委員設置問題『国政一新』12-10、10月1日
国家の統制強化[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』10月24日
公選を強調す[「地方局の東京都制両案に対する批判」]『都市問題』23-5、11月1日
我民族の特異性を無視する勿れ『木堂雑誌』13-8、11月1日
乃木・東郷両聖将[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』11月8日
空中の戦争『政界往來』7-12、12月1日
フェアプレー[「各人各説」]『時事新報[夕刊]』12月6日

1937(昭和12)年

[「今年こそ是非やりたいと思ふこと」]『実業之日本』40-1、1月1日
[「最も感激深かつた正月」]『実業之日本』40-1、1月1日
[「日独防共協定に対する感想(葉書回答)」]『文芸春秋』15-1、1月1日
真の雄弁と言論の自由『雄弁』28-1、1月1日
[「時局に対する覚悟と対策を貴衆両院議員に訊く」葉書回答]『経済情報』12-4、2月1日
林首相兼外相に質す—衆議院における質問演説速記抄—『政友』438、3月1日
林首相に質す—第七十議会に於ける質問演説要旨—[議事速記録から]『木堂雑誌』14-3、3月1日
[「私の子弟は今後どの方面へ進ませたいと思ふか」]『実業之日本』40-23、12月1日

1938(昭和 13)年

在官時代の思ひ出[「通信協會創立三十周年記念特輯——"先進に聴く"」]『通信協會雑誌』357、5月10日

宮本武蔵と大地『政界往来』9-6、6月1日

蘇満国境を視察して『神戸経済倶楽部講演』8、10月24日

蘇満国境を視察して[9月23日講演(於経済倶楽部臨時午餐会)]『経済倶楽部講演』189、10月26日

1939(昭和 14)年

[「新内閣に何を要望するか」]『政界往来』10-2、2月1日

政党は復活するか 国民生活を基調とした政党を[「日本の現状は一国一党を必要とするか」]『経済情報』14-7、3月1日

雄弁界思ひ出座談会『雄弁』30-3、3月1日[座談会：猪野毛利榮、大澤一六、加藤咄堂、吉植庄亮、高島米峰、鶴見祐輔、山森利一、小久保喜七、望月茂、鈴木正吾、淵田忠良、岩崎英祐]

雄弁に関して[「創刊三十周年を祝して現代名士一人一話」]『雄弁』30-4、4月1日

軍事と外交[「銃眼」]『文芸春秋』17-12[時局増刊21 現地報告]、6月10日

最近の国際情勢[7月5日講演於京都経済倶楽部茶話会]『経済倶楽部講演』14-27、9月25日

ヴェクトリア女王幼時の教育『政界往来』10-10、10月1日

英米対策・独ソ対策をどうする『東洋経済新報』1898、11月25日[11月13日座談会(於東洋経済新報社楼上)：中野正剛、水野伊太郎、蠟山政道、杉森孝次郎、鹿島守之助、茅原華山、石橋湛山]

1940(昭和 15)年

政党は復活するか座談会『話』8-2、2月1日[12月11日座談会(於芝紅葉館)：清瀬一郎、亀井貫一郎、内ヶ崎作三郎、油谷義治、木村正義、丸山幹治、秋定鶴造]

不介入絶対支持[「欧州大戦をかく見る」]『経済マガジン』4-7、7月1日

1941(昭和 16)年

大政翼賛会補助金不承諾の趣旨弁明[1941年2月27日、第76回帝国議会衆議院議事速記録から転載]『祖国』13-4、4月1日

1942(昭和 17)年

[「短言」]『東亞国政』2-2、2月15日

南方文化工作の重点『日本読書新聞』195、4月13日

[「総選挙雑感」]『祖国』14-6、6月1日

1945(昭和 20)年

東京よりの報告[Joseph C. Grew, *Report from Tokyo: a message to the American people*, 1942 の訳]『時局情報』9-13、10-1、12月1日、1946年1月1日[『何故戦争を起したか何故負けたか』(二葉書店、1945年)付録に収録]

1946(昭和 21)年

中道政治の妙を[「五大政党の政見を訊く」]『東洋経済新報』2215、3月30日

政局はどうなる『読売報知』4月17～21日[座談会：羽仁説子、末弘巖太郎、山本実彦、水谷長三郎、成島勇、志賀義雄]

議員生活廿五年『政界ジープ』1-3、10月1日

「電化の国日本建設 先づ！今冬の渇水期をどうして乗り切るか 今後の電源開発はどうして行ふか 名士の声」『誰にもわかる電気知識』22-11、11月15日

1947(昭和 22)年

温故知新『新都市』1-3、3月1日

根本的頭の切り替えが必要—戦争・国防国家から平和・文化国家へ—[「電力開発座談会その一」]『誰にもわかる電気知識』23-3、3月15日[出席者：赤木正雄、内海清温、新藤武左エ門、長野長廣、三ツ井新次郎、牧野良三、新井章治、田中敏郎、吉村正太郎]

我党の態度変りなし[談]『読売新聞』5月6日

地方自治とスポイルシステム[談]『内務時報』9・10、5月10日

日本の行くべき途『再建』1-3、6月1日

1948(昭和 23)年

政権はタライ廻し 問題は与党内対立の露呈[「政局の前途と打開策」]『信濃毎日新聞』1月3日

救国政党に基盤を置く[「政局收拾をどうする 各党代表者に聴く」]『毎日新聞』2月10日

権力の濫用[「暴力政治を想う」]『信毎情報』1-3、3月10日

炭鉱国管を繞って『社会思潮』1-7、10月1日[8月5日対談(於衆議院)：加藤勘十]

挙国内閣か単独内閣か『日本週報』65・66、11月30日[対談：西尾末広]

1949(昭和 24)年

このたびの政変に対する私の態度、発表形態未詳、2月9日[ブランゲ文庫 AC-1013]

[[新しい選良]]『信濃路』4-28、2月15日

予算の実体と緊急動向『先見経済』84、6月21日

[[講和をどう思う 本社によせる各界の県会]]『読売新聞』11月22日

1950(昭和 25)年

我利々々の群[「政局を語る」]『信濃毎日新聞』2月21日

[「編成案の賛否を輿論に訊く」]『新経済』10-3、2月25日

1951(昭和 26)年

再武装をかく見る 各派代表座談会『読売新聞』1月12、13日[座談会：三木武夫、鈴木茂三郎、高瀬荘太郎]

講和後国民の意向で[「日本の再軍備はか非か 各界代表の意見をきく」]『伊勢新聞』1月24日

ダレス特使を迎えて『日本海新聞』1月28日(『伊勢新聞』1月29日)[座談会：矢部貞治、工藤昭四郎]

講和をこう考える『毎日新聞』2月4、5日[座談会：岡崎勝男、三木武夫、浅沼稻次郎]

座談会 ダレス構想と日本の立場『東洋経済新報』2460、2月17日[座談会：浅尾新甫、田村幸策、波多野鼎]

[「読書だより」]『日本読書新聞』583、3月7日

領土問題につき訴う[6月2日衆議院本会議に上程された決議案に対する趣旨弁明]『再建』5-6、7月1日

安全保障は日本の保障になるか『政界往来』17-2、11月1日[座談会：千葉三郎、曾祢益、大田三郎、鈴木安蔵、木捨幾三郎、木原通雄]

独立日本と天皇制『読売新聞』12月22～25日[座談会：矢部貞治、鈴木安蔵、横田喜三郎]

1952(昭和 27)年

憲法をどうするか『読売新聞』4月2～6日[3月27日座談会：芦田均、浅沼稻次郎、武藤運十郎、鈴木安蔵]

アメリカの表情—訪米コボレばなし—『信濃往来』2-4、4月10日[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

改正に賛成[「憲法改正をどう思う」]『読売新聞』4月28日

[古島一雄哀悼談]『読売新聞[夕刊]』5月27日

川崎克君を憶う[1951年12月12日故川崎克三周年追悼会於上野精養軒]『時局』173、6月1日

とにかく働くこと 経済再建は青年の双肩に！『野田経済』3-6、6月1日

チャーチルの横顔[談]『時局』176、8月1日

世界は何処へ行くか『政界往来』18-9、9月1日

教育刷新が根本要件[「総選挙に臨む各党の主張」]『同盟時報』117、10月1日

1953(昭和 28)年

政治の民主化『時局』181、1月1日

[「はがき回答 保守合同はか非か」]『政界往来』19-1、1月1日

難局に“強力内閣”を思う—政治感覚は鋭いが茶坊主共に惑わされる吉田—『信濃往来』3-1、1月10日

【『植原悦二郎と日本国憲法』収録】

吉田内閣では景気はでない『産業と経済』6-3、2月1日[記者によるインタビュー]

国連と日本の存在[「国連議員連盟発足に当って」]『国連東京』14、3月15日

座談会 大物落選議員の政局観―議場の外から―『人物往来』2-7、7月1日[座談会：檜橋渡、周東英雄、唐島基智三]

敗将、政局を談ず『信濃往来』3-8、8月10日[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

[「吉田ロータリー（アンケート）」]『人物往来』2-9、9月1日

国士はいないか『時局』190、11月1日

断想『政界往来』19-11、11月1日

1954(昭和29)年

現行憲法と自衛軍『時局』192、1月1日

恵まれぬ農民『政界往来』20-1、1月1日

世相雑感[随筆]『政界往来』20-5、5月1日

ラジオ[「茶の間」]『毎日新聞[夕刊]』5月18日

我國民主政治の進展と政治家の素質『政策』17、18、6月1日、7月1日

わが国選挙区制度の沿革―明治二十二年から大正十四年まで―『選挙』7-6、6月1日

軍閥政治の回顧―自由党創立の当初―『東京だより』60、7月1日[座談会：鳩山一郎、安藤正純、石坂豊一、大野伴睦、北畠吉、世耕弘一、林譲治、星島二郎、森幸太郎、芦田均]

一言『ソ連研究』3-8、8月1日

尾崎翁を偲ぶ『時局』200、11月1日

スミス都へ行く『政界往来』20-11、11月10日

1955(昭和30)年

日本の将来『弁論』79、2月1日

バンドン会議に出席して アジア・アフリカの表情と平和宣言『実業之世界』52-6、5月15日

[「アンケート 民・自両党代議士にきく 政局安定の構想は？」]『新政経』67、6月1日

世界歴史の新機軸！―バンドン会議より帰って―『信濃往来』5-6、6月10日[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]

選挙管理人[「政界千夜一夜」]『政界往来』21-6、6月10日

星亨の内閣破壊運動と尾崎の共和演説事件[『日本民権発達史』から抄載]『時局』208、10月1日

一大国民運動の展開[「普選実施を回顧して」]『公明選挙時報』70、11月5日

大選挙区に挑む白面の貧書生 木堂翁の徳憑で教壇から政界入り―[「政界四十年の憶出(一)」]『信濃往来』5-12、12月10日

1956(昭和31)年

- 華府会議、加藤全権の苦衷—一人一区・強敵内山をうつちやる—[「政界四十年の憶出(二)】『信濃往来』6-1、1月10日
- 大糸線敷設と高瀬川堤防事始め—民主政治の先覚原・犬養・尾崎—[「政界四十年の憶出(三)】『信濃往来』6-2、2月10日
- 普選と婦選『政界往来』22-2、2月10日
- 天下りの参与官任官—苦戦を喫した青柳博士との対戦—[「政界四十年の憶出(四)】『信濃往来』6-3、3月10日
- 波瀾を捲起した“人民の名において”—絢爛、なお印象にのこる即位大典—[「政界四十年の憶出(五)】『信濃往来』6-4、4月10日
- イギリスの対日観—日英親善旅行を終えて『経済時代』21-5、5月1日
- 日英親善の架け橋に！—招かれて四十六年ぶりの訪英—[「政界四十年の憶出(六)】『信濃往来』6-5、5月10日[『植原悦二郎と日本国憲法』収録]
- 地方政界の古人今人—立派な政治家百瀬渡、縁の下の力持ち田中彌助—[「政界四十年の憶出(七)】『信濃往来』6-6、6月10日
- はき違えた民主政治の理念—国会は理知と討論の府—[特集 暴力国会と社会党]『経済時代』21-7、7月1日
- 訪英記『青淵』88、7月1日
- 日ソ国交回復の問題点と考え方『経済展望』28-7、7月3日
- 傑物だった・山本権兵衛—往年の“模範選挙区”も今は昔の語り草—[「政界四十年の憶出(八)】『信濃往来』6-7、7月10日
- 昭和初頭政権変転の跡—議会制度の肅正に示した山本条太郎の卓見—[「政界四十年の憶出(九)】『信濃往来』6-8、8月10日
- 相撲から文楽まで『経済時代』21-9、9月1日
- 犬養凶弾に殞れて憲政逆転—いまも頭に残る地方政界の人々—[「政界四十年の憶出(10)】『信濃往来』6-9、9月10日
- ジュネーヴの悲劇・四二対—一人に乏しく言論機関なき松本—[「政界四十年の憶出(11)】『信濃往来』6-10、10月10日
- 桐一葉の秋に想う—自民党への疑問に応う—『政界往来』22-10、10月10日
- 政界浄化か陰謀か[「時局懇談会を解剖する】『経済時代』21-11、11月1日
- 日・ソ交渉は大成功[「悪口雑言】『実業界』120、11月1日
- 汚職の源は官尊民卑の風潮—想起す今井・折井・森山・唐沢・石田・畔田などの故人—[「政界四十年の憶出(12)】『信濃往来』6-11、11月10日
- 日ソ交渉に協力した人を[「後継総裁をどう決める】『山陽新聞』11月12日
- 政治的に無能だった斉藤・岡田両大将—二・二六事件前夜の中政政局、そして松本の三女傑—[「政界四十年の憶出(13)】『信濃往来』6-12、12月10日

1957(昭和 32)年

下克上の軍部ついに憲政を蹂躪－民報・日報対立時代の松本言論界－[「政界四十年の憶出(14)」]『信濃往来』7-1、1月10日

日本の国際的歩 “米国一辺倒” から東西に窓開く『講演時報』869、2月23日

へんぼん翻る国連本部の日章旗－国連総会に列しての印象－[「政界四十年の憶出(15)」]『信濃往来』7-2、2月10日

責任分担上、憲法の改正は当然[「国連加盟と共同防衛」]『経済時代』22-3、3月1日

国民に挑戦した林内閣の蛮勇－綿密周到を極めた陸軍首脳部の陰謀－[「政界四十年の憶出(16)」]『信濃往来』7-3、3月10日

期待を裏切った第一次近衛内閣一付、恩怨両道につながる北安曇の群像－[「政界四十年の憶出(17)」]『信濃往来』7-4、4月10日

軍部に強いられた“近衛声明”－印象に残る信州政治家あの人、この人－[「政界四十年の憶出(18)」]『信濃往来』7-5、5月10日

複雑怪奇を嘆じた“平沼内閣”－伊那谷で忘れ得ぬ政客群像－[「政界四十年の憶出(19)」]『信濃往来』7-6、6月10日

世界の緊張緩和の方途『経済時代』22-7、7月1日

権力に阿附する日本の政治家－多士済々、諏訪地方の政客群像－[「政界四十年の憶出(20)」]『信濃往来』7-7、7月10日

本腹御活動を[「諸家の寄せられた芳信録」]『時局』224、8月1日

陸軍のボイコットで米内退く－印象に残る東信地方の政治家群像－[「政界四十年の憶出(21)」]『信濃往来』7-8、8月10日

惜まれる近衛公の第二次出盧－善光寺平の政財界人物群像をさぐる－[「政界四十年の憶出(22)」]『信濃往来』7-9、9月10日

亡国の因をなした日独伊三国同盟－原嘉道、塩野季彦氏ら北信地方の政客群像－[「政界四十年の憶出(23)」]『信濃往来』7-10、10月10日

奇怪を極めた近衛公の二面性格－貴人の弱さ、遂に陸軍に押切らる－[「政界四十年の憶出(24)」]『信濃往来』7-11、11月10日

緊迫した開戦前夜の国内様相－思い出は尽きぬ善光寺平の政治家群像－[「政界四十年の憶出(25)」]『信濃往来』7-12、12月10日

1958(昭和 33)年

国家千秋の恨事・東条内閣の出現－絢爛たる人材の園・名門小坂一族－[「政界四十年の憶出(26)」]『信濃往来』8-1、1月10日

言語に絶した選挙大干渉－遂に国家を破滅に導いた東条フワッシュ政府－[「政界四十年の憶出(27)」]『信濃往来』8-2、2月10日

世界平和の指導者たれ[「特集 岸政府の所信をただす郷土代表」]『信濃往来』8-3、3月10日

戦慄すべき軍人政治の因果－民主主義国家の構成を知らなかった東条英機－[「政界四十年の憶出(28)」]

『信濃往来』8-4、4月10日

近衛公を擁して新党樹立工作―戦争終結に血道をあげた頃のいきさつ―[「政界四十年の憶出(29)】『信濃往来』8-5、5月10日

国を亡ぼした軍人政治の末路―何たる皮肉、鈴木内閣の下で吉田茂氏等投獄さる―[「政界四十年の憶出(30)】『信濃往来』8-6、6月10日

大東亜戦争終幕の前後―今尚腑に落ちぬマックの占領政策第一歩―[「政界四十年の憶出(31)】『信濃往来』8-7、7月10日

マッカーサーの占領政治構想―根本の狙いを“日本の民主化と自由開放”に置いて―[「政界四十年の憶出(32)】『信濃往来』8-8、8月10日

嬉しかったこと・悲しかったこと―四十年を遡る初陣の出入りなど―[「政界四十年の憶出(33)】『信濃往来』8-9、9月10日

現行日本国憲法制定の経緯―マッカーサーに押しつけられてこれを呑む―[「政界四十年の憶出(34)】『信濃往来』8-10、10月10日

多くの欠点を蔵する日本国憲法―しかもその改正たるや容易なことでない―[「政界四十年の憶出(35)】『信濃往来』8-11、11月10日

農地改革とその損害補填―農相和田博雄君と激論―ヶ月半に及んだが―[「政界四十年の憶出(36)】『信濃往来』8-12、12月10日

1959(昭和34)年

*[「政界四十年の憶出(37)】『信濃往来』9-1、1月10日

天下の高人・西園寺公の佛―烈々たる尊王の血と併せ棲む偉大なる進歩的思想―[「政界四十年の憶出(38)】『信濃往来』9-2、2月10日

公卿宰相の双幅西園寺と近衛―但しその心境と性格には天地霄壤の差があった―[「政界四十年の憶出(39)】『信濃往来』9-3、3月10日

岡山県の三人男平沼・宇垣・犬養 [「政界四十年の憶出(40)】『信濃往来』9-4、4月10日

聖断一下・天下の向背茲に定まる―慟哭悲泣・凄絶を極めたその前夜の御前会議―[「政界四十年の憶出(41)】『信濃往来』9-5、5月10日

福祉国家の建設を 参院のあやまりを改める[「七候補の抱負 参院選県区・立会演説会から】『信濃毎日新聞』5月14日

ケロッグ不戦条約と私の進退 [「政界四十年の憶出(42)】『信濃往来』9-6、6月10日

愉快だった“代議士”としての渡米 [「政界四十年の憶出(43)】『信濃往来』9-8、8月10日

ふるさとを語る『経済時代』24-10、10月1日

1960(昭和35)年

学堂翁と日本の議会政治『尾崎記念講演集』14、12月15日

1961(昭和 36)年

安保条約は確固不動！“国会”は話し合いの場に－暴力絶滅が基本課題－『国会』14-1、1月1日

軍部と近衛内閣[「戦時議会の回顧」]『世界と議会』2、6月15日

わが立志伝－青春時代の思い出を語る－(第一回) 波乱に満ちた欧米留学時代『経済時代』26-11、11月1日

[「これには弱った」]『防衛と経済』57、12月1日

1962(昭和 37)年

国会正常化の三大指標！派閥と暴力と腐敗墮落の一扫へ－基盤条件は選挙界の清浄化－[「当面の焦点」]『国会』15-4、4月1日

“常夏の国” フィジ島地位－南太平洋の漁業基地に懸ける夢－『国会』15-9、10月1日

1963(昭和 38)年

我が青春の回顧(遺稿)『国会』16-8、8月1日

注記 下記は凡例で言及した『国家及国家学』掲載の植原悦二郎の頭文字と思われる EU 生、E、U、生、E.U.生署名の 18 篇である。

断片評論『国家及国家学』1-2、1913 年 3 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-3、1913 年 4 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-4、1913 年 5 月 1 日<<EU 生>>

江木博士の『国家道德論』『国家及国家学』1-4、1913 年 5 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-5、1913 年 6 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-6、1913 年 7 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-7、1913 年 8 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-8、1913 年 9 月 1 日<<EU 生>>

時事漫言『国家及国家学』1-9、1913 年 9 月 15 日<<E、U、生>>

断片評論『国家及国家学』1-10、1913 年 10 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-11、1913 年 11 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』1-12、1913 年 12 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』2-1、1914 年 1 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』2-2、1914 年 2 月 1 日<<EU 生>>

断片評論『国家及国家学』2-3、1914 年 3 月 1 日<<E. U. 生>>

断片評論『国家及国家学』2-4、1914 年 4 月 1 日<<EU 生>>

米国の風俗『国家及国家学』3-4、1915 年 4 月 1 日<<EU 生>>

欧米の風俗『国家及国家学』3-5、1915 年 5 月 1 日<<EU 生>>

4. 帝国議会議事速記録

* 『官報号外 帝国議会衆議院議事速記録』は『官報号外』と略記し、『官報号外 帝国議会貴族院議事速記録』は『官報号外<貴族院>』と略記した。『委員會議事速記録』は、委員会名のみを記し、貴族院のみ<貴族院>と示した。

第 39 回特別議會(1917 年 6 月 23 日～7 月 14 日)

動議・質疑『蚕糸業法中改正法律案委員会』2～4、1917 年 6 月 30 日、7 月 6、9 日
水産銀行特設に関する件、漁港及び漁船避難港修築国庫補助制定の件、沖縄県に所得税法実施延期の件について質疑『請願委員第一分科会』2、1917 年 7 月 4 日
元飯山区裁判所復旧に関し其の位置を中野町に移すの件について請願趣意説明『請願委員会』4、1917 年 7 月 9 日
パリ経済會議決議承認について質疑『工業所有権戦時法案委員会』1、1917 年 7 月 9 日
小学校教員俸給国庫支弁の件について紹介『請願委員会』7、1917 年 7 月 13 日
臨時外交調査会を憲法違反とする決議案への反対意見、7 月 13 日(『官報号外』11、1917 年 7 月 14 日)
国務大臣の答弁に対して意見陳述、7 月 14 日『官報号外』12、1917 年 7 月 15 日

第 40 回通常議會(1917 年 12 月 27 日～1918 年 3 月 26 日)

市町村立小学校教員俸給国庫負担法案について質疑『市町村立小学校教員俸給国庫負担法案委員会』2、1918 年 2 月 1 日
衆議院議院選挙法中改正法律案について質疑、3 月 7 日『官報号外』20、1918 年 3 月 8 日
衆議院議員選挙法中改正法律案について質疑『衆議院議員選挙法中改正法律案委員会』4、5、1918 年 3 月 12、13 日
衆議院議院選挙法に関する委員長報告への反対意見、3 月 20 日『官報号外』26、1918 年 3 月 21 日
松本鉄道建設に関する建議案について質疑『松本鉄道建設に関する建議案委員会』2、1918 年 3 月 22 日
委員長代理として議事運営『松本鉄道建設に関する建議案委員会』3、1918 年 3 月 23 日
日米紳士協約撤廃に関する政府答弁への質疑許可願ひ、3 月 25 日『官報号外』28、1918 年 3 月 26 日
信越線碓氷鉄道改良に関する建議案決定について『信越線碓氷鉄道改良に関する建議案委員会』2、1918 年 3 月 25 日

第 41 回通常議會(1918 年 12 月 27 日～1919 年 3 月 26 日)

衆議院議院選挙法中改正法律案の提出理由の説明、1 月 28 日『官報号外』7、1919 年 1 月 29 日
開墾助成法案について質疑、修正案提出の説明『開墾助成法案委員会』3、5、1919 年 2 月 6、12 日
衆議院議院選挙法中改正法律案の改正要点の説明ほか『衆議院議員選挙法中改正法律案委員会』2～8、1919 年 2 月 26～28 日、3 月 1、4、5、7 日
市制・町村制・府県制・郡制中改正法律案の提出理由の説明、3 月 18 日『官報号外』25、1919 年 3 月 19 日
陸海軍大臣、台湾総督、朝鮮総督、関東都督の文官任用について質疑、3 月 25 日『官報号外』29、1919 年 3 月 26 日

第 42 通常議会(1919 年 12 月 26 日～1920 年 2 月 26 日)

少年法案・矯正院法案について質疑『少年法案外一件委員会』3、8、1920 年 2 月 10、24 日
衆議院議院選挙法中改正法律案の提案理由の説明、2 月 14 日『官報号外』13、1920 年 2 月 15 日
衆議院議院選挙法中改正法律案の提案理由の要旨説明ほか『衆議院議員選挙法中改正法律案外二件委員会』2～7、9、1920 年 2 月 17～21、23、25 日

第 43 特別議会(1920 年 7 月 1 日～28 日)

政府の施政方針について質疑、7 月 6 日『官報号外』5、1920 年 7 月 7 日
衆議院議院選挙法中改正法律案の提案理由の説明および答弁、7 月 12 日『官報号外』9、1920 年 7 月 13 日
植民省設置に関する建議案について質疑『植民省設置に関する建議案委員会』2、3、1920 年 7 月 24、26 日

第 44 回通常議会(1920 年 12 月 27 日～1921 年 3 月 26 日)

海・陸軍国防計画、思想取締り、財政計画、山東問題・日英同盟・北米排日移民問題・情報局に関する問題について質疑『予算委員会』4、1921 年 1 月 29 日
情報部、領事館の新設について質疑『予算委員第一分科会』1、2、1921 年 2 月 2、3 日
帝蚕会社等について質疑『予算委員第五分科会』1、1921 年 2 月 2 日
ハルピン占領、陸軍省・外務省の政策的整合、日英同盟条約について質疑『予算委員第一分科会』3、1921 年 2 月 4 日
電力事業公営化等について質疑『予算委員第五分科会』3、1921 年 2 月 4 日
思想問題・教育制度・女子教育について質疑『予算委員第一分科会』4、1921 年 2 月 5 日
外務省・文部省・司法省予算原案反対の理由『予算委員第一分科会』5、1921 年 2 月 9 日
農商務省所管予算反対意見『予算委員第五分科会』4、1921 年 2 月 9 日
軍備制限に関する決議案への賛成意見、2 月 10 日『官報号外』12、1921 年 2 月 11 日
航空事業の拡張及其の行政機関の統一に関する建議案について質疑『航空事業の拡張及其の行政機関の統一に関する建議案委員会』1、2、5、6、9、10、1921 年 2 月 15、17 日、3 月 19、22、25、26 日
府県制、郡制、市制、町村制の改正法律案の提出理由の説明、2 月 23 日『官報号外』18、1921 年 2 月 24 日
蚕種専売法制定の請願について趣意説明『請願委員第二分科会』5、1921 年 2 月 28 日
地方鉄道法・補助法中改正法律案について質疑『地方鉄道法中改正法律案外一件委員会』2、1921 年 3 月 4 日
蚕糸業救済について質疑『予算委員会』10、1921 年 3 月 7 日
大正 9 年度歳入歳出総予算追加案への賛成意見、3 月 8 日『官報号外』23、1921 年 3 月 9 日
市制中改正法律案・町村制中改正法律案について質疑『府県制中改正法律案外八件委員会』3、9、1921 年 3 月 12、19、25 日
徴兵令事務施行細則改正に関する建議案の提出理由の説明、3 月 12 日『官報号外』26、1921 年 3 月 13 日
市制中改正法律案・町村制中改正法律案への反対意見、3 月 15 日『官報号外』27、1921 年 3 月 16 日

英露協約、ヤップ島問題、加州排日問題について質疑『予算委員会』13、1921年3月18日
航行中の船舶乗込船員の投票権行使に関する建議案の提出理由の説明、3月19日『官報号外』31、1921年3月20日

鋼材に課す関税等について質疑『予算委員会』14、1921年3月23日

陪審員制度に関する質問の答弁に関する意見、3月23日『官報号外』33、1921年3月24日

第45通常議会(1921年12月26日～1922年3月25日)

国務大臣の演説に対する質問、1月24日『官報号外』5、1922年1月25日

鉄道敷設法案について質疑『鉄道敷設法案委員会』2～4、1922年1月27、28、30日

治安警察法中改正法律案提案の説明ほか『治安警察法中改正法律案外三件委員会』1、1922年2月15日
人身攻撃発言の撤回を求める発言、2月27日『官報号外』19、1922年2月28日

治安警察法中改正法律案について質疑『治安警察法中改正法律案外三件委員会』2、1922年3月2日

一身上の弁明(ワシントン会議の件)、3月2日『官報号外』21、1922年3月3日

青島民政部経費予算の調査資料配布の要求『大正十年勅令第三百七十五号外一件委員会』2、1922年3月4日

徴兵事務条例施行規則中改正に関する建議案の提出理由の説明、3月4日『官報号外』22、1922年3月5日
[「第四十五回帝国議会に提出された徴兵猶予者滞郷問題 植原悦二郎氏の説明」と題して『新世界』1922年5月13～16日に転載]

陸海軍大臣任用の官制改正に関する建議案の提出理由の説明、3月6日『官報号外』23、1922年3月7日

府県制中改正法律案について質問、3月7日『官報号外』24、1922年3月8日

混合仲裁裁判所について質問『大正九年度予備金支出の件外四件委員会』3、1922年3月8日

原蚕種の種類制限に関する建議案への質疑、3月9日『官報号外』26、1922年3月10日

治安警察法中改正法律案、公娼制度廃止に関する建議案に関する質疑『治安警察法中改正法律案外三件委員会』3、1922年3月14日

徴兵事務条例施行細則中改正に関する建議案の提案趣旨弁明『身元保証に関する法律案外三件委員会』5、1922年3月15日

公娼制度廃止に関する建議案に関する質疑ほか『治安警察法中改正法律案外三件委員会』4、1922年3月17日

治安警察法中改正法律案について発言、3月18日『官報号外』32、1922年3月19日

国籍法中改正に関する建議案の提出理由の説明、3月22日『官報号外』33、1922年3月23日
[「米国出生兒ニ重国籍に関する国籍法改正建議案帝国議会に於ける植原悦二郎氏の説明」と題して『新世界』1922年5月17～19日に転載]

国籍法中改正に関する建議案の提案趣旨弁明『身元保証に関する法律案外三件委員会』8、1922年3月24日

第46回通常議会(1922年12月27日～1923年3月26日)

総理大臣の施政方針演説について質疑ほか『予算委員会』1、1923年1月26日

議事進行について『予算委員会』4、1923年1月30日

農村経済窮乏、帝蚕会社に関する質疑『予算委員第五分科会』1、2、1923年2月3、5日

農村振興に関する建議案について質問、2月3日『官報号外』8、1923年2月4日
外務省の対支政策、二重国籍問題について質疑『予算委員第一分科会』2、1923年2月5日
陸軍軍備の維持方針等について質疑『予算委員第四分科会』3、1923年2月6日
水力電気事業について質疑ほか『予算委員第五分科会』5、6、1923年2月8、10日
外務省予算案のローマ法王庁に施設を派遣する経費の削減要求ほか『予算委員第一分科会』6、1923年2月10日
予算返付の動議について『予算委員会』9、1923年2月12日
陸軍軍備の整理縮小に関する決議案賛成意見、2月12日『官報号外』12、1923年2月13日
議事進行について発言、2月13日『官報号外』13、1923年2月14日
高等試験令に関する件の請願理由説明『請願委員第一分科会』4、1923年2月19日
国籍法中改正法律案の提出理由の説明、2月22日『官報号外』18、1923年2月23日
産業組合中央金庫法案修正案賛成意見『日本勸業銀行法中改正法律案外三件委員会』8、1923年3月2日
産業組合中央金庫法案に対する修正案提出の理由説明、3月3日『官報号外』24、1923年3月4日
国籍法中改正法律案の提出理由の説明ほか『身元保証に関する法律案外一件委員会』4～7、1923年3月6、8、21、23日
陸海軍大臣任用の官制改正に関する建議案の提案理由の説明、3月10日『官報号外』29、1923年3月11日
陸海軍の恩給・転職賜金・勤続賜金について質疑『予算委員会』12、1923年3月15日
電気事業供給区域撤廃に関する建議案の提案理由の説明、3月15日『官報号外』32、1923年3月16日
追加予算案について『予算委員会』13、1923年3月17日
電気事業供給区域撤廃に関する建議案の提案理由の説明ほか『電力政策実施に関する建議案外一件委員会』1、4、1923年3月17、24日
追加予算修正案の賛成意見、3月19日『官報号外』34、1923年3月20日
西原借款、参戦借款、朝鮮私設鉄道について質疑『予算委員会』15、16、1923年3月20、21日
追加予算修正案の説明、3月21日『官報号外』36、1923年3月22日

第47回臨時議会(1923年12月11～23日)

復興問題全般について質問、12月13日『官報号外』3、1923年12月14日
保険会社に対する貸付金に関する法律案に関連して質疑『保険会社に対する貸付金に関する法律案外一件委員会』2、5、1923年12月17、21日
議事進行について、12月20日『官報号外』7、1923年12月21日
保険会社に対する貸付金に関する法律案・保険会社貸付資金公債法案原案の支持意見『保険会社に対する貸付金に関する法律案外一件委員会』6、1923年12月22日
保険会社に対する貸付金に関する法律案外一件の委員会の審議中止に対して議長の処置を希望する発言、委員長報告への反対演説、12月23日『官報号外』9、1923年12月24日

第49回特別議会(1924年6月28日～7月18日)

米国新移民法に関する決議案への賛成演説、7月1日『官報号外』3、1924年7月2日
震災善後公債法中改正法律案に関連して質疑『震災善後公債法中改正法律案委員会』2、3、1924年7月

4,8日

国籍法中改正法律案の提出理由の説明、7月5日『官報号外』6、1924年7月6日
委員長として議事進行『国籍法中改正法律案委員会』1～3、1924年7月9～11日
国籍法中改正法律案および戸籍法中改正法律案の委員長報告、7月11日『官報号外』9、1924年7月12
日)
米国籍法に關する意見陳述、7月17日『官報号外』13、1924年7月18日

第50回帝國議會（1924年12月26日～1925年3月30日）

水力電氣に關する答弁、1月27日『官報号外<貴族院>』5号、1925年1月27日
吉川郵便局に集配事務開始の件、敦賀町北津内区に無集配郵便局設置の件に關連して答弁『請願委員第三
分科会』1、1925年1月28日
電力国有化について答弁『予算委員会』6、1925年1月31日
民間航空事業、ラジオ放送事業、電氣事業、電話事業、郵便事業等について答弁『予算委員第七分科会<貴
族院>』1、2、1925年2月3、4日
竹生村大字弓削に無集配郵便局設置の件、上野千種兩郵便局間電信電話開設の件、菅野郵便局に集配事務
開始の件、網干驛前郵便局に集配事務開始並特設電話増設の件に關連して答弁『請願委員第三分科会』
2、1925年2月4日
郵便貯金と簡易保險の運用について答弁『預金部預金法案外一件委員会』4、1925年2月4日
海上衝突予防法中改正法律案に關連して答弁『海上衝突予防法中改正法律案特別委員会<貴族院>』1、
1925年2月9日
龍田郵便局に集配事務開始の件について答弁『請願委員第三分科会<貴族院>』1、1925年2月9日
郵便世襲貯金法制定の件に關連して答弁『請願委員第三分科会』3、1925年2月10日
遠洋漁業奨励法中改正法律案に關連して答弁『遠洋漁業奨励法中改正法律案委員会』1、1925年2月13
日
海上衝突予防法中改正法律案に關連して答弁『海上衝突予防法中改正法律案委員会』1、1925年2月17
日
船舶無線電信法制定實施の件に關連して答弁『請願委員第三分科会』4、1925年2月18日
新潟県西頸城郡西海村に郵便局設置の件、相野谷に集配事務開始の件、民間航空事業開發に關する件につ
いて答弁『請願委員第三分科会<貴族院>』3、1925年2月20日
福島県安達郡新殿村・島根県那賀郡雲城村に郵便局設置の件、滋賀県東黒田郵便局に集配事務開始の件、
秋田県南秋田郡瀧西村に郵便局設置の件について答弁『請願委員第三分科会<貴族院>』3、1925年2
月23日
長野郵便局電話加入区域拡張の件、野馳郵便局に集配事務開始の件、中愛別三等郵便局設置の件に關連し
て答弁『請願委員第三分科会』5、1925年2月25日
小樽港及び函館港に港務部設置の建議案に關連して答弁『小樽港に露國領事館設置に關する建議案外一件
委員会』1、1925年2月25日
郵便物無料の条件について答弁『衆議院議員選挙法改正法律案委員会』6、1925年2月27日
航空行政中央統一機關設置に關する建議案に關連して答弁『航空行政中央統一機關設置に關する建議案外
三件委員会』2、1925年2月27日
簡易保險に關する答弁 3月2日『官報号外<貴族院>』17、1925年3月2日
北海道拓殖政策に關する質問に對する逋信省所管事項についての答弁、3月3日『官報号外』22、1925

年 3 月 4 日

領石郵便局に電信事務開始の件、袖川郵便局昇格の件、苗村郵便局に電信・電話事務および集配事務開始の件、中井村大字西方に無集配郵便局設置の件、京都市上京村鹿ヶ谷法然院町内に無集配郵便局設置の件、瀧尾村に集配三等郵便局設置の件、粟井郵便局・山佐郵便局に集配事務開始の件に関連して答弁『請願委員第三分科会』6、1925 年 3 月 4 日

水力電気、ラジオ放送、簡易保険、無線電信事業に関連して答弁『予算委員第五分科会<貴族院>』1~3、1925 年 3 月 6、7、9 日

船舶無線電信施設法案の提出理由説明および答弁、日本無線電信株式会社法案について答弁『明治三十二年法律第七十号中改正法律案外三件委員会』1、2、4、1925 年 3 月 7、9、11 日

港湾行政統一に関する質問に対する通信省所管事項についての答弁、3 月 10 日『官報号外』25、1925 年 3 月 11 日

船舶無線電信施設法案提出理由の説明および同法案に関して答弁『船舶無線電信施設法案特別委員会<貴族院>』1~3、3 月 13、17、18 日

朝日新聞社の欧州訪問飛行に関連して答弁『予算委員会』12、1925 年 3 月 16 日

通信省補助航路船舶沈没に関する緊急質問に対する答弁、3 月 17 日『官報号外』28、1925 年 3 月 18 日
電気事業者の取締に関する緊急質問について書面による答弁の旨の発言、3 月 17 日『官報号外』28、1925 年 3 月 18 日

支那における帝国法人の所有する船舶等に関する法律案の提出理由の説明、3 月 17 日『官報号外』28、1925 年 3 月 18 日

支那に対する帝国法人の所有する船舶等に関する建議案について答弁『大正三年臨時事件に関する臨時軍事費特別会計の終結に関する法律案委員会』4、1925 年 3 月 19 日

無線電信装置に関する建議案について答弁『広尾港修築速成に関する建議案外四件委員会』1、1925 年 3 月 23 日

三重県南北牟婁郡沿岸に灯台設置の請願の件、郵便局設置に関連して答弁『請願委員会』13、1925 年 3 月 23 日

支那に対する帝国法人の所有する船舶等に関する建議案の説明、3 月 23 日『官報号外<貴族院>』27、1925 年 3 月 23 日

堺郵便局移管に関する建議案に関連して答弁『所得税法中改正法律案外二件委員会』11、1925 年 3 月 24 日

民間航空事業促進の爲政府の施設に関する建議案に関連して答弁『航空行政中央統一機関設置に関する建議案外三件委員会』7、1925 年 3 月 25 日

第 51 回通常議会(1925 年 12 月 26 日~1926 年 3 月 25 日)

対支外交(北京関税会議、日支互恵条約等)、北ハルピン利権問題、対支文化事業について質疑『予算委員会』6、7、1926 年 2 月 5、6 日

インドにおける日本産綿製品排斥運動について質問『予算委員会』11、1926 年 2 月 12 日

対支文化事業特別会計法中改正法律案に関する質問、2 月 13 日『官報号外』15、1926 年 2 月 14 日

在外児童教育問題に関連して排日移民問題について所感『予算委員第一分科会』1、1926 年 2 月 14 日

領事館制度改革、対支文化事業、北京関税会議、上海事件、吉敦鉄道、双橋無線問題について質疑『予算委員第一分科会』2、1926 年 2 月 15 日

北ハルピン石油問題に就いて質疑『予算委員第六分科会』3、1926 年 2 月 16 日

外交文書の配付について質疑『予算委員第一分科会』3、1926 年 2 月 16 日

北ハルビン石油問題に就いて質疑『予算委員第四分科会』4、1926年2月18日
外務省予算案のうち一部の対支文化事業に警告のうえ協賛『予算委員第一分科会』4、1926年2月19日
対支文化事業特別会計法中改正法律案について質疑『対支文化事業特別会計法中改正法律案委員会』5、
1926年2月25日
対支文化事業について警告と希望『対支文化事業特別会計法中改正法律案委員会』6、1926年3月2日
市町村会議員の定数等について質疑『府県制中改正法律案外六件委員会』3、1926年3月3日
議事進行について『府県制中改正法律案外六件委員会』4、5、1926年3月4、5日
支那関税特別会議参列費用、北ハルビンにおける油田問題、郵便貯金について質疑ほか『予算委員会』14、
1926年3月5日
請負人の選挙権について質疑『府県制中改正法律案外六件委員会』8、1926年3月12日
北海道会法中改正法律案に対する修正意見の陳述、3月16日『官報号外』31、1926年3月17日
北ハルビンの石油利権、ブラジル移民救済・北米移民、支那関税特別会議費用等について質疑『予算委員
会』17、1926年3月19日
議事進行について『予算委員会』18、1926年3月20日
鉄道敷設による党勢拡張、ブラジル移民の現状等について質疑、追加予算案所見『予算委員会』19、1926
年3月22日
大正15年度歳入歳出総予算追加案に対する修正案提出理由の説明、3月23日『官報号外』35、1926年
3月24日
薬療術法規制定の請願理由説明『請願委員会』9、1926年3月24日

第52回通常議会(1926年12月26日～1927年3月25日)

長野騒擾事件に関連して質疑『予算委員会』2、1927年1月26日
ジュネーヴ海軍軍縮会議、支那関税問題、ユタ州排日問題について質疑『予算委員会』7、1927年2月
18日
貴族院・衆議院で政府の説明不一致、海外移住組合法の施行に関する経費、土地貸借価格調査会の経費に
ついて質疑『予算委員会』12、1927年3月17日
議事進行について『予算委員会』13、1927年3月18日
健康保険組合の許可について質疑『予算委員第二分科会』1、1927年1月31日
対支政策等について質疑『予算委員第一分科会』1、1927年1月31日
普選に対する国民の政治教育について『予算委員第一分科会』3、1927年2月2日
製糸・養蚕業の窮状、農村振興対策、油田開発政策について質疑『予算委員第五分科会』3、1927年2月
2日
外務書所管の一般会計・特別会計の承認『予算委員第一分科会』4、1927年2月5日
土地貸借価格調査委員会法案に関連して質疑『土地貸借価格調査委員会法案委員会』2、3、6、1927年2
月15、17、23日
農耕地国有公營並之に関する制度審議会設置の請願理由説明『請願委員第二分科会』3、1927年2月21
日
土地貸借価格調査委員会法案修正案・希望条項について討議『土地貸借価格調査委員会法案委員会』7、
1927年3月2日
全般的改正の希望条件を付した上で電気事業法中改正法律案に賛成意見『電気事業法中改正法律案委員
会』5、1927年3月15日

大町糸魚川間鉄道速成に関する建議案提出理由説明『能代港に臨港線敷設に関する建議案外三十一件委員会』3、1927年3月17日

対支外交について外相に質問、1月25日『官報号外』7、1927年1月26日

海外移住組合法案について質問、2月24日『官報号外』17、1927年2月25日

電気事業法中改正法律案に関する質問、3月3日『官報号外』20、1927年3月4日

土地賃貸価格調査委員会法案の委員長報告に対する反対意見、3月4日『官報号外』21、1927年3月5日

大町糸魚川間鉄道速成に関する建議案提出について、3月11日『官報号外』24、1927年3月12日

私設鉄道補助問題について質疑『水戸鉄道株式会社、越後鉄道株式会社、陸奥鉄道株式会社、苫小牧軽便鉄道株式会社及日高拓殖鉄道株式会社所属鉄道買収の為公債発行に関する法律案外一件委員会』9、1927年3月17日

第56回通常議会(1928年12月26日～1929年3月25日)

対支外交問題について答弁、1月26日『官報号外』7、1929年1月27日

外務省公刊公文の発表について答弁『予算委員会』7、1929年1月31日

東亜保民会設立に関する請願について答弁『請願委員第二分科会<貴族院>』1、1929年2月5日

支那における領事裁判権の撤廃について答弁『予算委員第一分科会』3、1929年2月7日

同盟及聯合國と独逸国及其の同盟国との戦争に因り損害を被りたる帝国臣民の追加救恤に関する法律案について答弁『賠償金特別会計法中改正法律案外二件委員会』4、1929年2月18日

日露漁業条約第二条に基く規則発布に関する請願について答弁『請願委員第二分科会』3、1929年2月25日

米国の生糸絹織物の関税引上げに関する政府答弁『糸価安定融資補償法案委員会』6、1929年2月25日

山東出兵に関連して支那国民運動の状況について答弁『昭和二年度第一予備金支出の件外九件委員会』2、1929年3月2日

青島塩業補償金交付再審査に関する件について答弁『請願委員第二分科会』4、1929年3月4日

日露漁業条約に関する件、青島塩業補償金交付再審査に関する件について答弁『請願委員第二分科会<貴族院>』6、1929年3月12日

膠州湾旧租借地引渡しに関する条約実施に伴う損害の補償に関する法律案への質問に対する答弁、3月18日『官報号外』35、1929年3月19日

青島塩業補償金交付再審査に関する件について答弁『請願委員第二分科会<貴族院>』7、1929年3月19日

北米合衆国菜豆関税引上の前後措置に関する請願について答弁『請願委員会』12、1929年3月22日

環春事変並頭道溝事変に因る損害の補償に関する法律案、膠州湾旧租借地引渡しに関する条約実施に伴ふ損害の補償に関する法律案に関連して答弁『膠州湾旧租借地引渡しに関する条約実施に伴ふ損害の補償に関する法律案委員会』2～4、1929年3月23～25日

米国民法等に関する質問への答弁、3月23日『官報号外』40、1929年3月24日

第58回特別議会(1930年4月23日～5月13日)

外務大臣の施政方針について質疑、4月30日『官報号外』6、1930年5月1日

ロンドン海軍軍縮、日支関税協定について質疑『予算委員会』3、1930年5月1日

第 59 回通常議会(1930 年 12 月 26 日～1931 年 3 月 27 日)

生糸の価格、格付検査、処分問題、蚕糸業に対する国策等について質疑『輸出生糸検査法中改正法律案委員会』3、5、1931 年 2 月 26 日、3 月 5 日

抵当証券法案について質疑『抵当証券法案外九件委員会』6、7、1931 年 2 月 27 日、3 月 2 日

第 61 回臨時議会(1932 年 3 月 20 日～3 月 24 日)

厳正公平なる議事進行について、3 月 20 日『官報号外』1、1932 年 3 月 21 日

第 62 回臨時議会(1932 年 6 月 1 日～6 月 14 日)

副議長としての議事進行、6 月 2 日『官報号外』2、1932 年 6 月 3 日

第 63 回臨時議会(1932 年 8 月 23 日～9 月 4 日)

副議長としての議事進行、8 月 24、27 日、9 月 2 日『官報号外』2、5、10、1932 年 8 月 25、28 日、9 月 3 日

第 64 回通常議会(1932 年 12 月 26 日～1933 年 3 月 25 日)

副議長としての議事進行、1932 年 12 月 27 日、1933 年 1 月 25、31 日、2 月 16、18 日、3 月 9、14、16、24 日『官報号外』2、6、9、14、15、24、26、27、30、1932 年 12 月 28 日、1933 年 1 月 26 日、2 月 1、17、19 日、3 月 10、15、17、25 日

第 65 回通常議会(1933 年 12 月 26 日～1934 年 3 月 25 日)

副議長としての議事進行、1 月 24、26 日、2 月 6、8、20、22 日、3 月 1、3、10、20、24 日『官報号外』4、6、10、11、15、16～18、21、26、29、1934 年 1 月 25、27 日、2 月 7、9、21、23 日、3 月 2、4、11、21、25 日

第 66 回臨時議会(1934 年 11 月 28 日～12 月 10 日)

副議長としての議事進行、12 月 2、6 日『官報号外』5、8、1934 年 12 月 3、7 日

第 67 回通常議会(1934 年 12 月 26 日～1935 年 3 月 25 日)

副議長としての議事進行、12 月 27 日、1 月 25 日、2 月 21、26、28 日、3 月 5、6、9、12、14 日『官報号外』2、6、17、19、20、22、25～27、1934 年 12 月 28 日、1935 年 1 月 26 日、2 月 22、26、29 日、3 月 6、7、10、13、15 日

議院法中改正法律案の趣旨説明、3 月 6 日『官報号外』23、1935 年 3 月 7 日

議員尾崎行雄表彰動議の説明、3 月 16 日『官報号外』28、1935 年 3 月 17 日

衆議院 30 年在職議員表彰動議の説明、3 月 16 日『官報号外』28、1935 年 3 月 17 日

第 68 回通常議会(1935 年 12 月 26 日～1936 年 1 月 21 日)

副議長としての議会進行発言、12 月 27 日『官報号外』2、1935 年 12 月 28 日

第 69 回特別議会(1936 年 5 月 4 日～5 月 26 日)

広田総理大臣への演説の一節について質疑『予算委員会』2、5 月 8 日

広田総理大臣に対し言論の自由、選挙法、軍部、内閣調査局等について質問、外務大臣に対して大陸政策・対支外交等について質問『予算委員会』3、5 月 9 日[「大陸政策遂行に際し先づ世界の蒙を開け」と題して『外交・財政・国防問題特別議会一騎討』(城西出版社、1936 年)収録]

議事進行について発言『予算委員会』4、5 月 11 日

重要産業の統制に関する件について質疑『昭和六年法律第四十号中改正法律案(重要産業の統制に関する件)委員会』1～4、5 月 12、14、15、18 日

第 70 回通常議会(1936 年 12 月 26 日～1937 年 3 月 31 日)

故議員畔田明への哀悼演説、12 月 27 日『官報号外』2、1936 年 12 月 28 日

林総理大臣の演説に対する質疑、2 月 15 日『官報号外』5、1937 年 2 月 16 日

木曾福島、久々野間鉄道を予定線に編入の請願理由説明『請願委員第四分科会』1、1937 年 2 月 24 日

鉄道予定線追加に関する建議案について『建議委員会』7、1937 年 3 月 20 日

海外移住組合聯合会に対する政府貸付金の出資等に関する法律案について質疑『樺太市制案委員会』10、1937 年 3 月 23 日

第 73 回通常議会(1937 年 12 月 26 日～1938 年 3 月 26 日)

国家総動員法案の質疑および議事進行資料要求について『国家総動員法案委員会』2～6、9、10、12、1938 年 2 月 28 日、3 月 1～4、8、9、11 日

委員長・理事互選のための投票管理者としての発言『北支那開発株式会社法案外一件委員会』1、1938 年 3 月 19 日

議事進行について『北支那開発株式会社法案外一件委員会』2、1938 年 3 月 22 日

第 74 回通常議会(1938 年 12 月 26 日～1939 年 3 月 25 日)

大糸線信濃森上、南小谷両駅間に停車場設置の件に関する質疑『請願委員第四分科会』4、1939 年 3 月 1 日

博覧會法制定に関する建議案の提案理由説明『建議委員会』8、1939 年 3 月 11 日

委員長としての議事運営に関する発言『国際電気通信株式会社法中改正法律案委員会』1～8、10～14、1939 年 3 月 6～ 11、13、14、16～18、20、24 日

国際電気通信株式会社法中改正法律案委員長報告、3 月 16 日『官報号外』26、1939 年 3 月 17 日

大日本航空会社法案委員長報告、3 月 20 日『官報号外』28、1939 年 3 月 21 日

第 75 回通常議会(1939 年 12 月 26 日～1940 年 3 月 26 日)

大糸線信濃森上、南小谷両駅間に停車場設置の請願に関する質疑『請願委員第四分科会』1、1940 年 2 月 12 日

納内、下蘆別間鐵道敷設の請願に関する質疑『請願委員第四分科会』3、1940 年 3 月 23 日

第 76 回通常議会(1940 年 12 月 26 日～1941 年 3 月 25 日)

南小谷村字倉下に停車場設置の請願に関する質疑『請願委員第四分科会』2、1941 年 2 月 12 日

蠶絲業統制法案に関する質疑『蚕糸業統制法案委員会』4、8、1941 年 2 月 14、19 日

帝国燃料興業株式会社の事業成績等に関する質疑『昭和十二年法律第九十二号中改正法律案委員会』10、1941 年 2 月 18 日

大政翼賛会補助金不承諾の趣旨弁明、2 月 27 日『官報号外』19、1941 年 2 月 28 日

第 79 回通常議会(1941 年 12 月 26 日～1942 年 3 月 25 日)

外交政策等について質疑『予算委員会』5、1942 年 1 月 26 日

大政翼賛会の廃止等について質疑『予算委員会』8、1942 年 1 月 29 日

農業団体に関連して地方自治等について質疑『予算委員第二分科会』1、1942 年 1 月 31 日

日満農民問題に関連して質疑『予算委員第五分科会』2、1942 年 2 月 1 日

治水利水政策の確立に関する建議案に関する質疑『建議委員会』3、1942 年 2 月 7 日

第 90 回臨時議会(1946 年 6 月 20 日～10 月 11 日)

請願に関する質問への答弁『請願委員会』2、1946 年 7 月 13 日)

議員在職二十五年に及ぶ憲政への積年の功勞に対する院議による顕彰に対する謝辞、8 月 1 日『官報号外』23、1946 年 8 月 2 日

所得税法の一部を改正する等の法律案に関する質問への答弁『所得税法の一部を改正する等の法律案外二件委員会』7、1946 年 8 月 10 日

帝国憲法改正案に関する質問への答弁、8 月 30 日『官報号外<貴族院>』27、1946 年 9 月 1 日[清水伸編『逐条日本国憲法審議録 第 1 卷』(有斐閣、1962 年)第二章「帝国憲法改正の理由」収録、同書から『植原悦二郎と日本国憲法』転載]

国体に関する質問への答弁『帝国憲法改正案特別委員会<貴族院>』2、1946 年 9 月 2 日[清水伸編『逐条日本国憲法審議録 第 1 卷』(有斐閣、1962 年)第二章「帝国憲法改正の理由」収録、同書から『植原悦二郎と日本国憲法』転載]

帝国憲法改正案に関する質問への答弁『帝国憲法改正案特別委員会<貴族院>』19、24、1946 年 9 月 21 日、10 月 3 日

第 91 回臨時議会(1946 年 11 月 26 日～12 月 25 日)

民主政治と政党に関する意見、12 月 4 日『官報号外<貴族院>』5、1946 年 12 月 5 日

参議院議員選挙法案に関する質問への答弁『参議院議員選挙法案特別委員会<貴族院>』2～4、1946 年 12 月 5～7 日

内閣法案の説明および質問への答弁『内閣法案委員会』2～4、1946年12月10～13日
追放問題・内閣法に関する質問への答弁、12月19日『官報号外<貴族院>』7、1946年12月20日
内閣法案に関する質問への答弁『国会法案委員会』2、1946年12月20日
内閣法案に関する質問への答弁『内閣法案特別委員会<貴族院>』1、2、1946年12月20、21日
国会法案に関する質問への答弁、12月22日『官報号外<貴族院>』9、1946年12月23日
国会法案に関する質問への答弁『国会法案特別委員会<貴族院>』2、3、1946年12月23、24日
地方自治に関する質問への答弁、12月24日『官報号外』17、1946年12月25日

第92回通常議会(1946年12月28日～1947年3月31日)

教育と文化の刷新振興に関する質問への答弁、2月14日『官報号外<貴族院>』2、1947年2月15日
地方分権に関する質問への答弁、2月15日『官報号外』3、1947年2月16日
閣取引に関する質問への答弁、2月17日『官報号外』4、1947年2月18日
選挙法等引に関する質問への答弁、2月18日『官報号外』5、1947年2月19日
朝鮮及び台湾人に関する質問等への答弁、2月18日『官報号外<貴族院>』5、1947年2月19日
閣取引取締に関する質問への答弁、2月19日『官報号外』6、1947年2月20日
府県制、行政民主化、公共学校教員給与に関する質問への答弁、2月20日『官報号外』7、1947年2月21日
労働問題に関する質問への答弁、2月21日『官報号外』8、1947年2月22日
闇物資に関する質問等への答弁、2月21日『官報号外<貴族院>』8、1947年2月22日
参議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案理由及び法案中主要事項概要説明、3月5日『官報号外』12、1947年3月6日
選挙制度等に関する質問への答弁『予算委員会』4、1947年3月6日
参議院議員選挙法の一部を改正する法律案の要旨及び主要事項の説明および質問への答弁『参議院議員選挙法の一部を改正する法律外一件委員会』2、1947年3月6日
閣取引に関する質問への答弁『予算委員会』5、1947年3月7日
労働基準法案に関する質問への答弁、3月8日『官報号外』14、1947年3月9日
選挙公営に関する質問への答弁『予算委員会』7、1947年3月10日
労働基準法案に関する質問への答弁、3月10日『官報号外』15、1947年3月11日
地方財政の確立に関する質問への答弁『予算委員会』8、1947年3月11日
参議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案理由及び主要事項概要説明、3月11日『官報号外<貴族院>』14、1947年3月12日
参議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問等への答弁『参議院議員選挙法の一部を改正する法律案特別委員会<貴族院>』2、1947年3月12日
選挙法改正に関する質問への答弁『予算委員会』9、1947年3月12日
内務省所管昭和22年度予算の概要説明『予算委員第一分科会』1、1947年3月13日
参議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁、3月13日『官報号外<貴族院>』16、1947年3月14日
衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案趣旨及び概要説明、3月13日『官報号外』17、1947年3月14日
追放令等に関する質問への答弁『予算委員第一分科会』2、1947年3月14日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案の趣旨及び主要事項の説明、関連質問への答弁『衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案委員会』1、1947年3月14日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁『衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案委員会』2、1947年3月15日

議会解散に関する質問への答弁、3月15日『官報号外』18、1947年3月16日

地方自治法案の提案理由及び主要事項概略説明、3月17日『官報号外』19、1947年3月18日

地方自治法案の趣旨説明『地方自治法案委員会』1、1947年3月18日

治水計画に関する質問等への答弁『予算委員会<貴族院>』3、4、1947年3月18、19日

地方税法の一部を改正する法律案及び地方分與税法を改正する法律案の提案理由説明、3月18日『官報号外』20、1947年3月19日

現下の世相等に関する質問への答弁、3月18日『官報号外<貴族院>』18、1947年3月19日

北海道の開発に関する質問等への答弁『予算委員会<貴族院>』5、1947年3月20日

衆議院における地方自治法案修正中の主要な事項について説明『地方自治法案特別委員会<貴族院>』1、1947年3月23日

地方自治法案の提案理由及び主要事項概略説明、3月23日『官報号外<貴族院>』22、1947年3月24日

治安問題に関する質問等への答弁『予算委員第三分科会<貴族院>』1、1947年3月24日

地方自治法案に関する質問等への答弁『<貴族院>地方自治法案特別委員会』3、1947年3月25日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁『衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案委員会』7、8、1947年3月25、26日

地方自治法案に関する質問等への答弁『地方自治法案特別委員会<貴族院>』5、1947年3月27日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁『衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に対する修正案外三件委員会』1、2、1947年3月28、29日

地方自治に関する所信演説、3月28日『官報号外<貴族院>』26、1947年3月29日

用紙の増産と適正なる配給等に関する質問への答弁『決算委員会』12、1947年3月29日

地方税法の一部を改正する法律案及び地方分與税法を改正する法律案の提案理由の説明、3月29日『官報号外<貴族院>』27、1947年3月30日

隠匿物資に関する質問への答弁『特別調達庁法案委員会』2、1947年3月30日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁、3月30日『官報号外』31、1947年3月31日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案に関する質問への答弁『衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案特別委員会<貴族院>』1、1947年3月31日

衆議院議員選挙法の一部を改正する法律案の提案趣旨及び概要説明、3月31日『官報号外<貴族院>』29、1947年4月1日

5. 国会会議録

*『官報号外 国会衆議院会議録』は『官報号外』と略記し、『衆議院委員会議録』は、委員会名のみを記した。

第1回特別国会(1947年5月20日～12月9日)

自由討議の運用について『官報号外』15、1947年7月10日

臨時石炭鉱業管理法案について『官報号外』38、1947年9月30日

予算修正における政府の責任について『予算委員会』11、1947年10月11日

所得税法の一部を改正する等の法律案について質疑『予算委員会』22、1947年11月15日

第2回通常国会(1947年12月10日～1948年7月5日)

片山総理に対して重要施策について質疑『官報号外』5、6、1948年1月23、24日

災害復旧費について質疑『予算委員会』12、1948年3月30日

芦田内閣の与党政策協定について質疑『予算委員会』13、14、1948年3月31日、4月1日

石炭国家管理法案における指定鉱山について質疑『予算委員会』23、1948年5月22日

外資導入問題、健全財政等について質疑『官報号外』59、1948年6月9日

閣議決定と国会の審議権について質疑『予算委員会』32、1948年6月14日

軍事公債利払問題について質疑『予算委員会』34、1948年6月16日

外資導入等について質疑『予算委員会』36、1948年6月21日

石炭問題について質疑『予算委員会』40、1948年6月25日

新憲法下における政府の責任について『予算委員会』44、1948年7月2日

第3回臨時国会(1948年10月11日～11月30日)

石炭国管問題について証人発言『不当財産取引調査特別委員会』4、1948年10月14日

第4回通常国会(1948年12月1～23日)

内閣不信任案に対して反対意見の表明『官報号外』21、1948年12月23日

第5回特別国会(1949年2月11日～5月31日)

委員長としての議事運営発言『予算委員会』1～18、1949年3月19、28、30、31日、4月5、7～9、11～14、16、26日、5月7、14、23日、9月16日、10月20日

予算委員会委員長報告『官報号外』9、1949年3月31日

委員長としての議事運営発言『予算委員会公聴会』1、1949年4月11日

予算委員会委員長報告『官報号外』18、1949年4月16日

現内閣の蚕糸業対策に関する緊急質問『官報号外』29、1949年5月14日

第6回臨時国会(1949年10月25日～12月3日)

委員長としての議事運営発言『予算委員会』1～9、1949年11月14、16～19、21～26日

予算委員会委員長報告『官報号外』17、1949年11月26日

第7回通常国会(1949年12月4日～1950年5月2日)

委員長としての議事運営発言『予算委員会』1～32、1949年12月20日、1950年1月25、30、31日、2月1～3、6～9、13～16、20、27日、3月2～4、6～9、20、22～25、27日、5月2日

委員長としての議事運営発言『予算委員会公聴会』1、2、1950年2月10、11日

予算委員会委員長報告『官報号外』24、1950年3月10日

予算委員会委員長報告『官報号外』31、1950年3月28日

内閣不信任決議案に対する反対意見の表明『官報号外』46、1950年5月1日

第8回臨時国会(1950年7月12～31日)

朝鮮動乱の見通しについて質疑『外務委員会』2、1950年7月21日

自衛権の発動について質疑『外務委員会』4、1950年7月26日

第9回臨時国会(1950年11月21日～12月9日)

「朝鮮動乱とわれらの立場」(外務省情報部)について質疑『外務委員会』2、1950年11月29日

日本における朝鮮人暴動について質疑『外務委員会』3、1950年12月2日

第10回通常国会(1950年12月10日～1951年6月5日)

南阿連邦の日本に対する関税について『外務委員会』7、1951年2月28日

米国移民法の改正に関する外務省の所見について質問『外務委員会』10、1951年3月20日

ダグラス・マツカーサー元帥に対する感謝決議案の提出の理由説明『官報号外』30、1951年4月16日

領土問題に関する決議案提出の趣旨弁明『官報号外』46、1951年6月2日

第12回臨時国会(1951年10月10日～11月30日)

委員長選出に関する議事進行について『平和条約及び日米安全保障条約特別委員会』1、1951年10月11日

B29墜落事件に関連して『外務委員会』10、1951年11月27日

第13回通常国会(1951年12月10日～7月31日)

議事進行について『外務委員会』12、1952年3月25日

国際連合加盟に関する質疑『外務委員会』17、1952年4月2日

新外務大臣への要望『外務委員会』23、1952年5月7日

国際復興開発銀行協定・国際通貨基金協定への加入問題に関連して質疑『外務委員会』25、1952年5月21日

北太平洋の公海漁業に関する国際条約及び北太平洋の公海漁業に関する国際条約附属議定書の締結に関する質疑『外務・水産委員会連合審査会』2、1952年6月11日

インドとの平和条約に関連して『外務委員会』31、1952年6月11日

議事進行について『外務委員会』33、1952年6月13日

発言引用の曲解について『外務委員会』35、1952年6月16日

第14回通常国会(1952年8月26～28日)

新議長に対する祝辞及び前議長に対する謝辞『官報号外』1、1952年8月26日

第15回特別国会(1952年10月24日～1953年3月14日)

保安隊に関連してポリス・パワーとミリタリー・パワーの区別について質疑『外務委員会』4、1952年12月1日

国連加盟、自衛問題、朝鮮動乱等について質疑『予算委員会』7、1952年12月4日

アイゼンハウアーの朝鮮訪問に関して緊急質問『外務委員会』6、1952年12月6日

外務省の予算編成等について『外務委員会』14、1953年2月4日

ヤルタ協定、文民について関連質問『外務委員会』17、1953年2月14日

日ソ・日韓関係に関する質問『外務委員会』19、1953年2月21日

安全保障問題に関する質問『外務委員会』20、1953年2月25日

国際情勢等に関する質問『外務委員会』23、1953年3月11日

第22回特別国会(1955年3月18日～1955年7月30日)

委員長として議事進行『外務委員会』1～39、1955年3月25、31日、4月6日、5月6、11、14、18、25、26、28、30、31日、6月1、4、8、11、13、15～17、21、22、25、29日、7月2、6、9、13～16、19、20、23、25～27、30日

外務委員会委員長報告『官報号外』21、1955年5月31日

外務委員会委員長報告『官報号外』28、1955年6月14日

外務委員会委員長報告『官報号外』29、1955年6月16日

委員長として議事進行『外務・農林水産・商工委員会連合審査会』1、1955年6月18日

外務委員会委員長報告『官報号外』31、1955年6月21日

委員長として議事進行『外務・農林水産委員会連合審査会』1、1955年7月12日

外務委員会委員長報告『官報号外』44、1955年7月21日

外務委員会委員長報告『官報号外』48、1955年7月27日

第23回臨時国会(1955年11月22日～1956年12月16日)

委員長として議事進行『外務委員会』1～3、1955年11月30日、12月3、5日

委員長辞任挨拶『外務委員会』4、1955年12月7日

国際連合加盟問題について関連質問『外務委員会』7、1955年12月10日

第24回通常国会(1955年12月20日～1956年6月3日)

日ソ交渉について質疑『外務委員会』60、1956年7月23日

千島列島の問題について関連質問『外務委員会』62、1956年8月27日

日ソ国交正常化問題等に関する質問『外務委員会』63、1956年8月30日

第25回臨時国会(1956年11月12日～12月13日)

委員長として議事進行『日ソ共同宣言等特別委員会』1～9、1956年11月17、19～22、24～27日

日ソ共同宣言等特別委員長としての報告『官報号外』7、1956年11月27日

第26回(1956年12月20日～1957年5月19日)

領事館制度、大使館、日韓国交正常化、日中関係改善、インドネシア賠償問題、中東問題について質問『外務委員会』4、1957年2月20日

第27回臨時国会(1957年11月1～14日)

委員長および理事の互選の議事進行『公職選挙法改正に関する調査特別委員会』1、1957年11月1日

移動大使の問題について『外務委員会』3、1957年11月8日

第28回通常国会(1957年12月20日～1958年4月25日)

国務大臣の演説に対する質疑『官報号外』5、1958年1月30日

国際情勢に関する質問『外務委員会』7、1958年2月27日